

# 撮影した画像を編集する

## 画像サイズを変える(リサイズ)

撮影した静止画のサイズを変えて、新しい静止画として保存することができます。元の静止画も残ります。以下の3つのサイズに変えることができます。

画素数(pixels)		プリントサイズ	
大きい ↑	5M	2560×1920	A4プリント
	3M	2048×1536	A4プリント
↓ 小さい	VGA	640×480	Eメール ※Eメールで画像を送りたい場合に最適です。

※Mはメガ(100万)の意味です。

1. 再生モードにして【MENU】を押す
2. “再生機能”タブ→“リサイズ”と選び、【▶】を押す
3. 【◀】【▶】でサイズを変える静止画を表示させる
4. 【▲】【▼】で変更後のサイズを選び、【SET】を押す
  - 画像サイズの選択中は、画素数(pixel数)とプリントサイズが自動的に切り替わって表示されます。プリントサイズは、選んだ画素数に対して、プリント時に最適な用紙のサイズを示しています。

5. 続けて別の静止画をリサイズする場合は手順3、手順4を繰り返す

- リサイズをやめるには“キャンセル”を選んで【SET】を押してください。

### 重要

- 次の画像はリサイズできません。
  - サイズがVGA(640×480 pixels)以下の画像
  - モーションプリント機能で作成した画像
  - このカメラで撮影したもの以外の画像
- 16:9、および3:2の画像をリサイズすると、画像の両脇が削られ、画像の横縦比が4:3になります。
- リサイズ後の静止画を保存できるだけのメモリー容量が残っていないときは、リサイズできません。
- リサイズした静止画の日付は、元の静止画を撮影した日付になります。

## 静止画の一部を切り抜く(トリミング)

撮影した静止画の一部を切り抜いて、新しい静止画として保存することができます。元の静止画も残ります。

1. 再生モードにして、トリミングしたい静止画を表示させる

2. 【MENU】を押す

3. “再生機能”タブ→“トリミング”と選び、【▶】を押す

- 静止画が表示されているときのみ操作できます。



4. ズームレバーで静止画を拡大、縮小したり、【▲】【▼】【◀】【▶】で表示位置を変えて、切り抜く部分を決める

5. 【SET】を押す

- トリミングをやめるには、【SET】を押す前に【MENU】を押します。

### 重要

- 次の画像はトリミングできません。
  - モーションプリント機能で作成した画像
  - このカメラで撮影したもの以外の画像
- 3:2、16:9の画像をトリミングすると、画像の横縦比が4:3になります。
- トリミング後の静止画を保存できるだけのメモリー容量が残っていないときは、トリミングはできません。
- トリミング後の静止画の日付は、元の静止画を撮影した日付になります。

## 黒板やポスターを正面から見たように補正する(アングル補正)

すでに撮影した黒板、書類、ポスターや写真などの静止画を、正面から撮影したように(長方形・正方形に)ゆがみを補正します。アングル補正した画像は、アングル補正する前の画像とは別に、最新ファイルとして2M(1600×1200 pixels)のサイズで保存されます。

1. 再生モードにして、補正したい静止画を表示させる

2. 【MENU】を押す

3. “再生機能”タブ→“アングル補正”と選び、【▶】を押す  
補正確認画面が表示されます。

- 静止画が液晶モニターに表示されているときのみ操作することができます。

4. 【◀】【▶】で補正候補を選ぶ



5. 【▲】【▼】で“補正”を選び、【SET】を押す

- 補正を中止する場合は“キャンセル”を選びます。

## 重要

- 元の画像サイズが2M(1600×1200 pixels)より小さい場合は、元の画像と同じサイズで保存されます。
- 次の画像はアングル補正できません。
  - 動画
  - モーションプリント機能により作成した画像
  - このカメラで撮影した画像以外の画像
- アングル補正した画像を保存できるだけのメモリー容量が残っていない場合は、アングル補正できません。
- アングル補正した画像をカメラで表示した場合、日付はアングル補正した日付ではなく、撮影した日付が表示されます。
- アングル補正した画像をカレンダー表示した場合、画像はアングル補正した日付上に表示されます(102ページ)。

## 古く色あせた写真を補正する(退色補正)

デジタルカメラで撮影した古く色あせた写真を、後から退色の補正をすることができます。すでに撮影した古い写真やポスターなどを補正するのに便利です。

- 退色補正した画像は、退色補正する前の画像とは別に、最新ファイルとして2M(1600×1200 pixels)のサイズで保存されます。

1. 再生モードにして、補正したい静止画を表示させる

2. **[MENU]**を押す

3. “再生機能”タブ→“退色補正”と選び、**[▶]**を押す

4. **[◀][▶]**で写真の輪郭候補を選ぶ

5. **[▲][▼]**で“決定”を選び、**[SET]**を押す

画像の一部を切り抜く操作(トリミング)により、液晶モニターに画像を切り抜くための枠が表示されます。

- “キャンセル”を選ぶと、補正せず、何も保存されずに終了します。

6. ズームレバーをスライドさせて、枠を拡大/縮小する

- 表示されている画像のサイズによって、トリミングできる枠の大きさが変わります。

7. **[▲][▼][◀][▶]**で切り抜きたい部分に枠を移動し、**[SET]**を押す

あせた色を自動的に補正し、画像を保存します。

- 画像の周囲に余白を付けたくない場合は、撮影した写真よりも小さい枠で画像を切り抜いてください。
- [MENU]**を押すとトリミングを中止し、何も保存されずに退色補正が終了します。

### 重要

- 元の画像サイズが2M(1600×1200 pixels)より小さい場合は、元の画像と同じサイズで保存されます。
- 次の画像は退色補正できません。
  - 動画、ボイスレコードファイルのアイコン
  - モーションプリント機能により作成した画像
  - このカメラで撮影した画像以外の画像
- 退色補正した画像を保存できるだけのメモリー容量が残っていない場合は、退色補正できません。
- 退色補正した画像をカメラで表示した場合、日付は退色補正した日付ではなく、退色補正で設定した日付が表示されます。
- 退色補正した画像をカレンダー表示した場合、画像は退色補正した日付上に表示されます(102ページ)。

### 参考

- 退色補正を撮影から補正まで一貫して行いたい場合は、「古く色あせた写真を蘇らせる(よみがえりショット)」(72ページ)をご覧ください。

## 撮影画像の日時情報を修正する

すでに撮影した画像の日時情報(撮影日/撮影時刻)をカメラで修正することができます。次のようなときに便利です。

- 日時設定(10ページ)をしないで、誤った日時のままで撮影してしまったとき
- 旅行中にワールドタイム(128ページ)の訪問先を変更しないで、撮影してしまったとき

1. 再生モードにして、日時を修正したい静止画を表示させる

2. 【MENU】を押す

3. “再生機能”タブ→“日時編集”と選び、【▶】を押す

4. 日付と時刻を修正する

【▲】【▼】：カーソル(選択枠)の部分の数字を変えます。

【◀】【▶】：カーソル(選択枠)を移動します。

【BS】：12時間表示と24時間表示の切り替えができます。

5. 【SET】を押して、修正を終了する

- 修正後は、画面を表示して、日時が正しく修正されたかどうかを確認してください。

## 重要

- 次のファイルは日付を修正できません。
  - 動画、ボイスレコード
  - モーションプリント機能により作成した画像
- タイムスタンプ機能により写し込んだ日付と時刻は修正できません(87ページ)。
- メモリープロテクトのかかったファイルは、日時を修正できません。メモリープロテクトを解除してから、日時を修正してください。
- 入力できる日付は、1980年1月1日～2049年12月31日となります。

## 静止画を回転する

撮影した画像を回転して表示させることができます。カメラを縦に構えて撮影した画像を見るときなどに便利です。さらに回転させて元の状態に戻すことができます。

- 画像データそのものが回転するわけではありません。液晶モニターでの表示のしかたを変えているだけです。

1. 再生モードにして【MENU】を押す
2. “再生機能”タブ→“回転表示”を選び、【▶】を押す
  - 静止画が表示されているときのみ操作できます。
3. 【◀】【▶】で回転させたい画像を選ぶ
4. 【▲】【▼】で“回転”を選び、【SET】を押す  
【SET】を押すたびに、90° 左回りに回転します。
5. 希望の表示状態になったら【MENU】を押す

## 重要

- メモリープロテクトをかけた静止画を回転させることはできません。回転させたいときは、メモリープロテクトを解除してください(118ページ)。
- 他のカメラで撮影した静止画は回転できない場合があります。
- モーションプリント機能で作成した画像は回転させることはできません。
- 12画面表示、カレンダー表示では、回転前の静止画が表示されます。

## 動画をカットする(ムービーカット)

撮影した動画の一部をカット(削除)することができます。以下の3通りのカット方法があります。

 カット (前カット)	選択した場面から前をカットします。
 カット (中カット)	選択した場面と場面の間をカットします。
 カット (後カット)	選択した場面から後をカットします。

### 重要

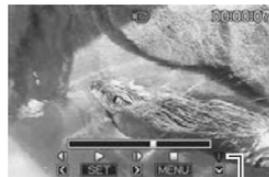
- 編集した元の動画は残りません。一度カットすると、削除した場面を元に戻すことはできません。
- 5秒未満の短い動画は、カットできません。
- このカメラで撮影した動画以外は、ムービーカットできません。
- カット編集しようとしている動画ファイルよりも残りのメモリー容量が少ない場合は、ムービーカットできません。その場合は、不要なファイルを消去するなどして、残りのメモリー容量を増やしてください。
- 動画を二つに分けたり、二つの動画を一つにすることはできません。

## ■ 前カット、後カットする

### 1. カットしたい動画を再生する

### 2. 【SET】を押して一時停止する

- “” (カットアイコン) が表示されていることを確認してください。表示されていない場合は、もう一度【SET】を押してください。



カットアイコン

### 3. 【▼】を押す

- 以下のように操作しても同じ画面が表示されます。
  - ①再生モードでカットしたい動画を選び、【MENU】を押す
  - ②“再生機能”タブ→“ムービーカット”と選び、【▶】を押す

### 4. 【▲】【▼】で“ カット”(前カット)または“ カット”(後カット)を選び、【SET】を押す

- カットを中止するときは、“キャンセル”を選んで【SET】を押します。一時停止状態に戻ります。

5. 以下の操作で、カットしたい位置(境界のコマ)を探す  
早戻し/早送りする:

【◀】【▶】を押す

再生と一時停止を切り替える:

【SET】を押す

一時停止中にコマ送りする:

【◀】【▶】を押す

- バーの赤い部分がカットされます。
- カットを中止するときは、【MENU】を押します。手順3の画面に戻ります。



6. カットしたい位置が決まったら【▼】を押す

7. 【▲】【▼】で“はい”を選び、【SET】を押す

- カットを中止するときは、“いいえ”を選んで【SET】を押します。一時停止状態に戻ります。
- カットには、しばらく時間がかかります。「処理中ですしばらくお待ちください」の表示が消えるまで待ってください。編集する動画が長いときは非常に時間がかかることがあります。

## ■ 中カットする

1. カットしたい動画を再生する

2. 【SET】を押して一時停止する



カットアイコン

3. 【▼】を押す

- 以下のように操作しても同じ画面が表示されます。
  - ① 再生モードでカットしたい動画を選び、【MENU】を押す
  - ② “再生機能”タブ→“ムービーカット”と選び、【▶】を押す

4. 【▲】【▼】で“カット”(中カット)を選び、【SET】を押す

- カットを中止するときは、“キャンセル”を選んで【SET】を押します。一時停止状態に戻ります。

5. 以下の操作で、カットする部分の先頭の場面(コマ)を探す

早戻し/早送りする:

【◀】【▶】を押す

再生と一時停止を切り替える:

【SET】を押す

一時停止中にコマ送りする:

【◀】【▶】を押す

- カットを中止するときには、【MENU】を押します。手順3の画面に戻ります。



6. 先頭の場面が決まったら、【▼】を押す

7. 手順5と同様に操作し、カットする部分の最後の場面(コマ)を探す

- バーの赤い部分がカットされます。

8. 最後の場面が決まったら、【▼】を押す

9. 【▲】【▼】で“はい”を選び、【SET】を押す

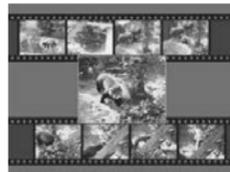
- カットを中止するときには、“いいえ”を選んで【SET】を押します。一時停止状態に戻ります。
- カットには、しばらく時間がかかります。「処理中ですしばらくお待ちください」の表示が消えるまで待ってください。編集する動画が長いときは非常に時間がかかることがあります。

## 動画から静止画を作成する (モーションプリント)

撮影した動画から印刷用の静止画を作ることができます。以下の2種類から選べます。

9コマで作成  
(2M 1600×  
1200 pixels)

選んだ場面を最も大きくレイアウトした9コマを1枚の静止画にして記録します。



1コマで作成  
(VGA 640×  
480 pixels)

選んだ1コマを静止画にして記録します。



1. 再生モードにして、素材にする動画を表示させる
2. 【MENU】を押す
3. “再生機能”タブ→“モーションプリント”と選び、【▶】を押す
4. 【▲】【▼】で“9コマで作成”または“1コマで作成”を選ぶ
5. 【◀】【▶】で静止画にしたい場面を探す
  - 【◀】【▶】を押し続けると、早戻し／早送りができます。
6. 【SET】を押す
  - “9コマで作成”を選んだときは、手順6の場面が最も大きくレイアウトされた9コマが静止画になります。
  - “1コマで作成”を選んだときは、手順6の場面が静止画になります。

### 重要

- このカメラで撮影した画像以外は、モーションプリントできません。

# 音声を活用する

## 静止画に音声を追加する(アフレコ)

音声を付けずに撮影した静止画に、あとから音声を付けることができます(アフレコ)。あとから音声を付けた場合も、その静止画は音声付きの静止画(“”が表示される静止画)になります。音声付きの静止画の、音声を録音し直すこともできます。音声は、ひとつの静止画につき最長約30秒まで録音できます。

### ■ 音声を追加する

1. 再生モードにして、音声を追加したい静止画を表示させる
2. 【MENU】を押す
3. “再生機能”タブ→“アフレコ”と選び、【▶】を押す
  - 静止画が表示されているときのみ操作することができます。
4. シャッターを押して録音を開始する
5. もう一度シャッターを押して録音を終了する  
シャッターを押さなくても、約30秒経過すると録音は終了します。



### 追加した音声を聞くには

音声付き静止画の音声を聞くときと同じように操作します(95ページ)。

### ■ 音声を録音し直す



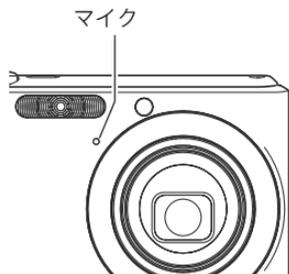
#### 重要

- 音声を消去、変更すると、元の音声を戻すことはできません。

1. 再生モードにして、音声を録音し直したい静止画を表示させる
2. 【MENU】を押す
3. “再生機能”タブ→“アフレコ”と選び、【▶】を押す
4. 【▲】【▼】で“消去”を選び、【SET】を押す
  - 音声を消すだけにしたいときは、続いて【MENU】を押してください。
5. シャッターを押して録音を開始する  
前の録音は消え、新しい音声が録音されます。
6. もう一度シャッターを押して録音を終了する  
シャッターを押さなくても、約30秒経過すると録音は終了します。

## 重要

- 指などでマイクをふさがないようにご注意ください。
- 録音の対象がカメラから遠くに離れると、きれいに録音されません。
- メモリー容量が少ないときは、録音できないことがあります。
- 次の画像には音声を追加することはできません。
  - 動画
  - モーションプリント機能で作成した画像
  - メモリープロテクトがかかっている画像



## 参考

- 音声のデータ形式などは以下のとおりです。
  - 録音形式: WAVE/ADPCM記録形式 (拡張子は.WAV)
  - 音声ファイルサイズ: 約165KB (約5.5KB/秒で30秒間録音時)

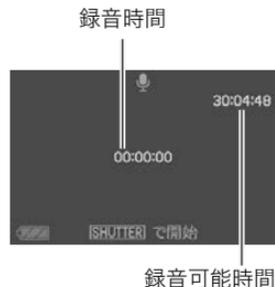
## 音声だけを録音する(ボイスレコード)

静止画や動画は撮影せず、音声だけを録音することができます。内蔵メモリーを使った場合、最長約24分録音できます。

1. 撮影モードにして【BS】を押す
2. 【▲】【▼】【◀】【▶】で“ボイスレコード”を選び、【SET】を押す  
液晶モニターに“”が表示されます。

3. シャッターを押して録音を開始する

- 録音中は、動作確認用ランプが緑色に点滅します。
- 録音中に【DISP】を押すと、液晶モニターの表示が消えます。
- 録音中に【SET】を押すと、その部分にマークが付きます。再生するとき、マークの位置に簡単に移動できます。



#### 4. もう一度シャッターを押して録音を終了する

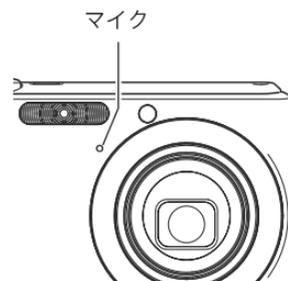
- シャッターを押さなくても、メモリーがいっぱいになると録音は終了します。
- 録音途中で【ON/OFF】(電源)や【▶】(再生)を押したときや電池が消耗したときも、録音は終了し、そこまでの音声記録されます。

#### 5. 続けて次の録音をする場合は手順3、手順4を繰り返す

- ボイスレコードをやめるには、【BS】を押し、“ボイスレコード”以外の設定を選んで【SET】を押してください。たとえば、“オート”での静止画撮影ができる状態にするには、“オート”を選んで【SET】を押します。

#### 重要

- 指などでマイクをふさがないようにご注意ください。
- 録音の対象がカメラから遠くに離れると、きれいに録音されません。



#### 参考

- ボイスレコードで録音した音声は、パソコンで再生することもできます (WindowsではWindows Media Player、MacintoshではQuickTimeを使用)。
- 音声のデータ形式などは以下のとおりです。
  - 録音形式: WAVE/ADPCM記録形式 (拡張子は.WAV)
  - 音声ファイルサイズ: 約165KB (約5.5KB/秒で30秒間録音時)

## ■ ボイスレコードの音声を聞く

1. 再生モードにして、【◀】【▶】で再生したいボイスレコードの画面を表示させる  
ボイスレコードの画面には、“”が表示されます。
2. 【SET】を押して再生を始める



## 音声の再生中にできること

再生中に、以下の操作ができます。

早送り／早戻しする：	【◀】【▶】を押し続ける
再生と一時停止を切り替える：	【SET】を押す
マークの位置から再生する：	一時停止中に【◀】【▶】を押し、希望のマークの位置で【SET】を押す
音量を調節する：	【▲】【▼】を押す • 音量調節は、再生または一時停止中にだけできます。
液晶モニターの表示のオン／オフを切り替える：	【DISP】を押す
再生をやめる：	【MENU】を押す

# 撮ったものを整理する

## ファイルとフォルダについて

本機では、撮影した静止画などのひとつひとつが、個別のデータとして記録されます。個別のデータのことを「ファイル」と呼びます。撮影したものをファイルとして扱うことにより、ファイル単位で消去したり、誤消去防止の設定をしたり、コピーしたり、といった操作が可能になります。

各ファイルは、本機が自動的に作成する「フォルダ」と呼ばれるまとまりにグループ分けされます。

ファイル、フォルダには、区別のための名前が付けられます。ファイル名、フォルダ名とも、本機が自動的に付けます。

- フォルダの構造に関して詳しくは、「メモリー内のフォルダ構造」(160ページ)をご覧ください。

	名前と最大作成数	例
ファイル	“CIMG0001”から“CIMG9999”までで、最大9999個のファイルが1つのフォルダに作成されます。拡張子は記録したファイルの形式によって異なります。 <ul style="list-style-type: none"><li>• ひとつのフォルダに9999個のファイルが入っているときに次の撮影をすると、自動的に新しいフォルダができます。</li></ul>	26番目に記録したファイル名：  CIMG0026.JPG └──┬──┘ 連番(4桁) 拡張子
フォルダ	“100CASIO”から“999CASIO”までです。 <ul style="list-style-type: none"><li>• 最大900のフォルダが作成されます。</li></ul>	連番100のフォルダ名：  100CASIO └──┘ 連番(3桁)

### 参考

- フォルダ名、ファイル名は、パソコンで見ることができます。カメラの液晶モニターでの表示については、164ページをご覧ください。
- 保存できるフォルダ数、ファイル数は、サイズや画質、メモリーカードの容量によって異なります。

## ファイルを消去できないようにする

大事なファイルを誤って消してしまうことのないよう、ファイルごとに、あるいはすべてのファイルに、消去防止(メモリープロテクト)の設定をすることができます。

### 重要

- メモリープロテクトをかけたファイルでも、フォーマット操作(12、32、130ページ)を行うと、消去されてしまいます。

### ■ ファイルごとにメモリープロテクトをかける

- 再生モードにして【MENU】を押す
- “再生機能”タブ→“プロテクト”と選び、【▶】を押す
- 【◀】【▶】でメモリープロテクトをかけたいファイルを表示させる
- 【▲】【▼】で“オン”を選び、【SET】を押す  
メモリープロテクトがかかり、“**On**”が表示されます。



- 続けて別のファイルにメモリープロテクトをかける場合は手順3、手順4を繰り返す

- メモリープロテクトの設定をやめるには、【MENU】を押してください。

### メモリープロテクトを解除するには

手順4で“オフ”を選んで【SET】を押します。

### ■ 全ファイルにメモリープロテクトをかける

- 再生モードにして【MENU】を押す
- “再生機能”タブ→“プロテクト”と選び、【▶】を押す
- 【▲】【▼】で“全ファイル オン”を選び、【SET】を押す  
これで、すべてのファイルにメモリープロテクトがかかります。
- 【MENU】を押す

すべてのファイルのメモリープロテクトを解除するには  
手順4で“全ファイル オフ”を選んで【SET】を押します。

## お気に入りフォルダを使う

お気に入りフォルダとは、内蔵メモリーの中に用意されているフォルダで、通常の再生ではその中身を見ることはできません。思い出の風景や家族の写真、あるいはプライベートな写真などを入れておくと、メモリーカードを変えても、あるいはメモリーカードを入れていなくても見ることができます。好きな静止画をいつも持ち歩きたいときなどにお使いください。

### 重要

- お気に入りフォルダに登録できるのは、静止画だけです。音声付き静止画の場合は、静止画だけがお気に入りフォルダに登録されます。

## ■ お気に入りフォルダにファイルを登録(コピー)する

- 再生モードにして【MENU】を押す
- “再生機能”タブ→“お気に入り”と選び、【▶】を押す
- 【▲】【▼】で“登録”を選び、【SET】を押す
- 【◀】【▶】で、お気に入りフォルダに登録したい静止画を表示させる
- 【▲】【▼】で“登録”を選び、【SET】を押す  
静止画がお気に入りフォルダに登録されます。

- 続けて別のファイルをお気に入りフォルダに登録する場合は手順4、手順5を繰り返す

- 登録をやめるには、【MENU】を2回押してください。

### 重要

- お気に入りフォルダに静止画を登録すると、QVGA(320×240 pixels)のサイズに変更されます。お気に入りフォルダの静止画のサイズを元に戻すことはできません。
- お気に入りフォルダに登録したファイルをメモリーカードにコピーすることはできません。

### 参考

- 登録できるファイル数は、画質、内蔵メモリーの空き容量により異なります。

## ■ お気に入りフォルダの静止画を見る

- 再生モードにして【MENU】を押す
- “再生機能”タブ→“お気に入り”と選び、【▶】を押す
- 【▲】【▼】で“表示”を選び、【SET】を押す

4. [◀][▶]でお気に入りフォルダの静止画を切り替える



お気に入りフォルダアイコン

5. [MENU]を2回押す

お気に入りフォルダの表示が終了します。

お気に入りフォルダの内容をパソコンで表示するときは

1. カメラからメモリーカードを取り出す
2. カメラをUSBクレードルにセットする
3. カメラをパソコンから操作する

パソコン上では、お気に入りフォルダは“FAVORITE”フォルダとして表示されます。

## ファイルをコピーする

内蔵メモリーからメモリーカードへ、メモリーカードから内蔵メモリーへ、ファイルをコピーすることができます。たとえば、自分のメモリーカードを使って撮影した画像を他の人のメモリーカードにコピーしてあげるときは、次のような手順になります。

- ① 自分のメモリーカードから内蔵メモリーにコピー
- ② 自分のメモリーカードを抜いて、他の人のメモリーカードをセット
- ③ 内蔵メモリーから、そのメモリーカードにコピー

### 重要

- コピーできるのは、カメラで撮影した静止画、動画、音声付き静止画、ボイスレコードファイルだけです。
- お気に入りフォルダからのコピーはできません。

## ■ 内蔵メモリーからメモリーカードにコピーする

内蔵メモリーからメモリーカードにコピーする場合は、すべてのファイルがコピーされます。1ファイルずつ指定してコピーすることはできません。内蔵メモリー内のすべてのファイルがメモリーカードにコピーされます。

1. ファイルをコピーしたいメモリーカードを本機に入れる
2. 電源を入れ、再生モードにして【MENU】を押す
3. “再生機能”タブ→“コピー”と選び、【▶】を押す
4. 【▲】【▼】で“内蔵→カード”を選び、【SET】を押す  
コピーが始まります。“処理中です しばらくお待ちください”の表示が消えたらコピー終了です。
  - コピーが終了すると、コピーしたフォルダの最後のファイルが表示されます。

## ■ メモリーカードから内蔵メモリーにコピーする

メモリーカード内のファイルをひとつひとつ内蔵メモリーにコピーできます。

1. コピーしたいファイルが入ったメモリーカードを本機に入れる
2. 電源を入れ、再生モードにして【MENU】を押す
3. “再生機能”タブ→“コピー”と選び、【▶】を押す
4. 【▲】【▼】で“カード→内蔵”を選び、【SET】を押す
5. 【◀】【▶】でコピーしたいファイルを選ぶ
6. 【▲】【▼】で“コピー”を選び、【SET】を押す  
コピーが始まります。“処理中です しばらくお待ちください”の表示が消えたらコピー終了です。
  - コピーが終わると、コピーを始める前に表示されていたファイルに戻ります。
7. 続けて別のファイルをコピーする場合は手順5、手順6を繰り返す
  - コピーをやめるには、【MENU】を押してください。

### 参考

- ファイルは、内蔵メモリーの一番大きい番号のフォルダにコピーされます。

# 消去する

プリントしたり、パソコンにコピーした画像のファイルは、メモリーから消去して、次の撮影のための容量を確保することができます。

ファイルの消去には、1つずつ消去する方法とすべてのファイルを1回の操作で消去する方法があります。

ここでは、併せてお気に入りフォルダ内のファイルの消去のしかたについても説明します。

## 重要

- 消去したファイルは元に戻せません。消去する前に、本当に不要かどうかよく確認してください。
- メモリープロテクトのかかったファイルは消去できません。消去するときは、メモリープロテクトを解除してください(118ページ)。
- 音声付きの静止画を消去すると、静止画といっしょに音声ファイルも消去されます。

## 1 ファイルずつ消去する

1. 再生モードにして【▼】  
()を押す



2. 【◀】【▶】で消去したいファイルを表示させる
3. 【▲】【▼】で“消去”を選び、【SET】を押す
  - 消去を中止したいときは、“キャンセル”を選んでください。
4. 続けて別のファイルを消去する場合は手順2、手順3を繰り返す
  - 消去をやめるには、【MENU】を押してください。

## すべてのファイルを消去する

1. 再生モードにして【▼】(⚡ )を押す
2. 【▲】【▼】で“全ファイル消去”を選び、【SET】を押す
3. 【▲】【▼】で“はい”を選ぶ
  - 消去を中止するときは、“いいえ”を選んでください。
4. 【SET】を押す
  - すべてのファイルが消去され、“ファイルがありません”と表示されます。

## お気に入りフォルダのファイルを消去する

お気に入りフォルダ内のファイルも、1ファイルずつ、あるいは一括して消去できます。

### ■ 1ファイルずつ消去する

1. 再生モードにして【MENU】を押す
2. “再生機能”タブ→“お気に入り”と選び、【▶】を押す
3. 【▲】【▼】で“表示”を選び、【SET】を押す
4. 【▼】(⚡ )を押す
5. 【◀】【▶】で消去したいファイルを選ぶ
6. 【▲】【▼】で“消去”を選び、【SET】を押す
7. 続けて別のファイルを消去する場合は手順5、手順6を繰り返す
  - 消去をやめるには、【MENU】を2回押してください。

## ■ すべてのファイルを消去する

1. 再生モードにして【MENU】を押す
2. “再生機能”タブ→“お気に入り”と選び、【▶】を押す
3. 【▲】【▼】で“表示”を選び、【SET】を押す
4. 【▼】(🔌🗑️)を押す
5. 【▲】【▼】で“全ファイル消去”を選び、【SET】を押す

### 参考

- 内蔵メモリーをフォーマットしたとき(130ページ)も、お気に入りフォルダのすべてのファイルが消去されます。

# その他の設定について

## カメラの音を設定する

カメラの音について、次の設定ができます。

- シャッター音や操作したときの音の種類
- シャッター音や操作したときの音の音量
- 動画やボイスレコードの再生音の音量

### ■ 操作音の種類を選ぶ

1. 【MENU】を押す
2. “設定”タブ→“操作音”と選び、【▶】を押す
3. 【▲】【▼】で設定したい音を選び、【▶】を押す
4. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押す  
サウンド1～5：内蔵されたサンプル音が鳴ります。  
切：音は鳴りません。

### ■ 操作音量を設定する

1. 【MENU】を押す
2. “設定”タブ→“操作音”と選び、【▶】を押す
3. 【▲】【▼】で“ 操作音”を選ぶ

4. 【◀】【▶】で再生したい音量を選び、【SET】を押す

- 音量は“0”（最小）～“7”（最大）の8段階の間で設定できます。
- 音量を“0”に設定すると、音は鳴りません。

### ■ 参考

- 操作音の設定はビデオ出力時(99ページ)の音量にも反映されます。

### ■ 再生音量を設定する

操作音とは別に、動画や音声付き静止画の音量を設定することができます。

1. 【MENU】を押す
2. “設定”タブ→“操作音”と選び、【▶】を押す
3. 【▲】【▼】で“ 再生音”を選ぶ
4. 【◀】【▶】で再生したい音量を選び、【SET】を押す
  - 音量は“0”（最小）～“7”（最大）の8段階の間で設定できます。
  - 音量を“0”に設定すると、音は鳴りません。



### ■ 重要

- 再生音の設定はビデオ出力時(99ページ)音量に反映されません。

## 起動画面のオン/オフを切り替える

カメラが記録している画像を、起動画面として液晶モニターに表示させることができます。

- **【▶】** (再生) を押して電源を入れた場合は、起動画面は表示されません。

1. **【MENU】** を押す
2. “設定” タブ→“起動画面” と選び、**【▶】** を押す
3. **【◀】【▶】** で起動画面にしたい画像を表示させる
4. **【▲】【▼】** で設定内容を選び、**【SET】** を押す  
入：選んだ画像を起動画面として表示します。  
切：起動画面は表示しません。

### 参考

- 起動画面に設定できる画像は以下の通りです。
  - カメラに内蔵されている起動画面用の専用画像
  - 静止画
  - 音声付き静止画 (音声は再生されません)
- 起動画面は、1つだけ登録できます。起動画面を変更すると、メモリー内の画像は上書きされます。
- 登録した起動画面は、内蔵メモリーをフォーマット (130 ページ) すると消去されます。

## 画像の連番のカウント方法を切り替える

撮影時に画像に付く連番 (117 ページ) のカウント方法を切り替えることができます。

1. **【MENU】** を押す
2. “設定” タブ→“ファイルNo.” と選び、**【▶】** を押す
3. **【▲】【▼】** で設定内容を選び、**【SET】** を押す

メモリする：今まで撮影したファイルの連番を記憶します。ファイルを消去したり、メモリーカードを交換しても、記憶した連番からファイル名を付けます。

メモリしない：ファイルをすべて消去したり、メモリーカードを交換すると、ファイルの連番を継続せずに、0001 番からファイル名を始めます。

## 日時を設定し直す

日時を設定し直したいときは、ホームタイムの都市(カメラを使用する都市)を設定してから日時を設定します。日時だけを設定し直したいときは、「ホームタイムの日時を設定し直す」の操作だけで日時の設定を行うことができます。

### 重要

- 日時の設定を行う前にホームタイムを自分の住んでいる地域に設定しないと、ワールドタイム(128ページ)の日時が正しく表示されません。

## ■ ホームタイムの都市を設定し直す

1. **【MENU】**を押す
2. “設定”タブ→“ワールドタイム”と選び、**【▶】**を押す  
現在設定されている内容が表示されます。
3. **【▲】【▼】**で“自宅”を選び、**【▶】**を押す
4. **【▲】【▼】**で“都市”を選び、**【▶】**を押す
5. **【▲】【▼】【◀】【▶】**で自宅の地域を選び、**【SET】**を押す
6. **【▲】【▼】**で自宅の都市を選び、**【SET】**を押す
  - 日本で使う場合は“Tokyo”を選んでください。
7. **【SET】**を押して、設定を終了する

## ■ ホームタイムの日時を設定し直す

1. **【MENU】**を押す
2. “設定”タブ→“日時設定”と選び、**【▶】**を押す
3. 日付と時刻を合わせる
  - 【▲】【▼】**：カーソル(選択枠)の部分の数字を変えます。
  - 【◀】【▶】**：カーソル(選択枠)を移動します。
  - 【BS】**：12時間表示と24時間表示の切り替えができます。
4. **【SET】**を押して、設定を終了する

## ■ 日付の表示スタイルを切り替える

画面に表示される日付の表示スタイルを3通りの中から選ぶことができます。

1. **【MENU】**を押す
2. “設定”タブ→“表示スタイル”と選び、**【▶】**を押す
3. **【▲】【▼】**で設定内容を選び、**【SET】**を押す

例) 2006年12月19日

年/月/日:06/12/19

日/月/年:19/12/06

月/日/年:12/19/06

## ワールドタイムを表示する

購入時に設定した自宅の日時とは別に、海外旅行などで訪問する都市の日時を1都市選んで表示することができます。世界162都市(32タイムゾーン)に対応しています。

## ワールドタイムを設定する

1. 【MENU】を押す
2. “設定”タブ→“ワールドタイム”と選び、【▶】を押す
3. 【▲】【▼】で“訪問先”を選び、【▶】を押す
4. 【▲】【▼】で“都市”を選び、【▶】を押す

- サマータイムを設定するときは“サマータイム”を選び、“入”、“切”を設定します。
- サマータイムとは、夏の一定期間、日照時間を有効に使うため、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。
- サマータイムの採用時期は国や地域によって異なります(日本では採用されていません)。



5. 【▲】【▼】【◀】【▶】で訪問先の地域を選び、【SET】を押す
6. 【▲】【▼】で訪問先の都市を選び、【SET】を押す
7. 【SET】を押して、設定を終了する

## ■ ワールドタイムとホームタイムの表示を切り替える

1. 【MENU】を押す
2. “設定”タブ→“ワールドタイム”と選び、【▶】を押す
3. 【▲】【▼】で“訪問先”を選ぶ  
自宅 : ホームタイムの日時を表示します。  
訪問先 : ワールドタイムの日時を表示します。
4. 【SET】を押して、設定を終了します。

## 表示言語を切り替える

画面のメッセージを7つの言語の中から選ぶことができます。

1. 【MENU】を押す
2. “設定”タブ→“Language”と選び、【▶】を押す
3. 【▲】【▼】【◀】【▶】で設定内容を選び、【SET】を押す

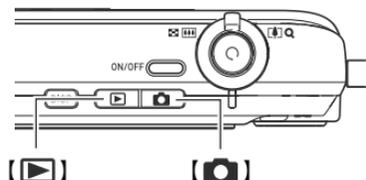
## USB通信の方法を切り替える

パソコンやプリンターなどの外部機器と接続するときの、USB通信の方法を切り替えることができます。接続する機器に合わせて切り替えてください。

1. **【MENU】**を押す
2. “設定”タブ→“USB”と選び、**【▶】**を押す
3. **【▲】【▼】**で使用する機器に合わせて設定を選び、**【SET】**を押す
  - Mass Storage (USB DIRECT-PRINT) : パソコンやUSB DIRECT-PRINT対応(133ページ)のプリンターを接続する場合、こちらを選びます。パソコンにカメラを外部記憶装置として認識させる方法です。通常、パソコンへの画像の保存の操作時(付属のソフト「PhotoLoader」使用時はこちらを選んでください。
  - PTP (PictBridge) : PictBridge対応(133ページ)のプリンターを接続する場合、こちらを選びます。画像データを外部接続機器に簡単に転送するための接続方法です。

## **【📷】(撮影) / 【▶】(再生)の動作を設定する**

**【📷】(撮影)**や**【▶】(再生)**を押しても電源が入らないようにしたり、**【📷】(撮影)**や**【▶】(再生)**を押して電源を切ることができるように設定することができます。



1. **【MENU】**を押す
2. “設定”タブ→“REC/PLAY”と選び、**【▶】**を押す
3. **【▲】【▼】**で設定内容を選び、**【SET】**を押す
  - パワーオン : **【📷】(撮影)**や**【▶】(再生)**を押すと、電源が入ります。
  - パワーオン/オフ : **【📷】(撮影)**や**【▶】(再生)**を押して、電源を入れたり切ったりできます。
  - 切 : **【📷】(撮影)**や**【▶】(再生)**を押しても、電源は入りません。

## 参考

- “パワーオン/オフ”に設定しているときは、撮影モードで【】(撮影)を押した場合と再生モードで【】(再生)を押した場合に電源が切れます。
- 撮影モードで【】(再生)を押したときは再生モードに、再生モードで【】(撮影)を押したときは撮影モードに切り替わります。
- 電源が入っているときに【】(撮影)や【】(再生)を押すと、メニュー操作中であっても、ただちに撮影可能状態や再生状態になります。
- お買い上げいただいたときは、“パワーオン”に設定されています。
- テレビに画像を映し出す場合は、“切”以外に設定する必要があります。

## 内蔵メモリーをフォーマットする

内蔵メモリーをフォーマットすると、内蔵メモリーの内容がすべて消去されます。

### 重要

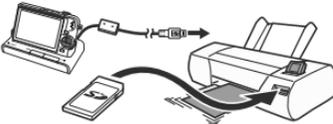
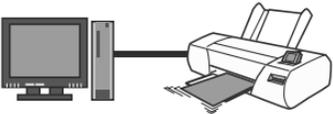
- 内蔵メモリーをフォーマットすると、再びデータを元に戻すことはできません。フォーマット操作を行う際は、本当にフォーマットしてもよいかどうかをよく確かめてから行ってください。
- 次の画像も同時に消去されます。
  - メモリープロテクトされた画像
  - お気に入りフォルダの画像
  - ベストショットモードでカスタム登録した内容
  - 起動画面に設定した画像
- フォーマット操作は、十分に充電された電池を使用してください。フォーマット中に電源が切れると、正しくフォーマットされず、カメラが正常に動作しなくなる恐れがあります。
- フォーマット中は、絶対に電池カバーを開けないでください。カメラが正常に動作しなくなる恐れがあります。

1. 本機にメモリーカードが入っていないことを確認する
  - メモリーカードが入っている場合は、取り出してください。
2. 【MENU】を押す
3. “設定”タブ→“フォーマット”と選び、【▶】を押す
4. 【▲】【▼】で“フォーマット”を選び、【SET】を押す  
内蔵メモリーがフォーマットされます。
  - フォーマットを実行しないときは、“キャンセル”を選んでください。
  - フォーマットが完了すると、再生モードの場合は“ファイルがありません”と表示されます。

# プリント(印刷)する

## プリントのしかたあれこれ

撮影した画像は、3通りの方法でプリントできます。

<b>お店で プリントする (133ページ)</b>	 <p>○△プリント</p>	<p>撮影に使ったメモリーカードを、<b>プリントサービスのお店</b>に持参してプリントします。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● プリントしたい画像や枚数、日付の情報を設定しておくことができます。</li></ul>
<b>自宅で プリントする</b>	<b>プリンターでプリントする(133ページ)</b> 	<b>PictBridge</b> または <b>USB DIRECT-PRINT</b> に対応しているプリンターや、メモリーカードを差し込む <b>スロット</b> が付いているプリンターでプリントします。
	<b>パソコンを使ってプリントする</b> 	<b>■Windowsパソコンの場合</b> 付属のソフト(Photohands)をパソコンにインストールした後、プリントします。 →「 <b>Windowsパソコンを利用する</b> 」(139ページ) <b>■Macintoshの場合</b> 画像をパソコンに取り込んだ後、市販のプリントソフトを使ってプリントします。 →「 <b>Macintoshを利用する</b> 」(151ページ)

## ■ プリントについてのご注意

- 印刷品位や用紙の設定についてはプリンターの取扱説明書をご覧ください。
- PictBridgeやUSB DIRECT-PRINT対応プリンターの機種名やプリンターのバージョンアップなどについては、プリンターメーカーにお問い合わせください。
- プリント中は、ケーブルを抜いたり、カメラやUSBクレードルの操作を行わないでください。プリンターがエラーを起すことがあります。

## お店でプリントする

プリントしたい画像が記録されているメモリーカードを、プリントサービスを行っているカメラ店などに持参してプリントします。DPOF機能(135ページ)を使って、プリントしたい画像や枚数、日付プリントの設定をあらかじめしておく、お店での手続きが簡単です。

## お手持ちのプリンターでプリントする

お手持ちのプリンターが以下のどちらかのタイプの場合、パソコンを使わずにプリントできます。

- SDメモリーカードスロット付のプリンター
- PictBridgeまたはUSB DIRECT-PRINTに対応しているプリンター

## ■ SDメモリーカードスロット付のプリンターでプリントする

SDメモリーカードをカメラから取り外し、プリンターのスロットに直接セットしてプリントできます。また、プリンターによってはカメラのDPOF機能(135ページ)で設定した内容(画像の指定、枚数、日付)が利用可能です。詳しくは、プリンターに付属の説明書にしたがって操作してください。

## ■ PictBridgeまたはUSB DIRECT-PRINT対応のプリンターでプリントする

カメラをプリンターに直接接続し、カメラの液晶モニター上でプリントする画像を選んでプリントできます。

- このカメラは付属のUSBクレードルを介してプリンターと接続しますが、すぐにUSBクレードルとプリンターを接続せず、必ず以下の手順を進めてください。

1. **【MENU】**を押す
2. “設定”タブ→“USB”と選び、**【▶】**を押す

**3. [▲][▼]で使用するプリンターに合わせて設定を選び、【SET】を押す**

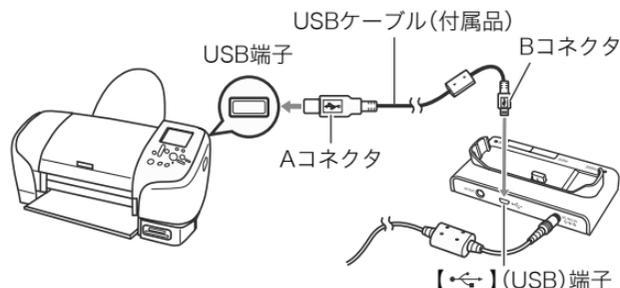
Mass Storage(USB DIRECT-PRINT) :

ご使用のプリンターがUSB DIRECT-PRINT対応の場合、こちらを選びます。

PTP(PictBridge) :

ご使用のプリンターがPictBridge対応の場合、こちらを選びます。

**4. 付属のUSBケーブルでUSBクレードルとプリンターのUSB端子を接続する**



- USBクレードルにはACアダプターも接続しておいてください。
- ACアダプターを使用しないときは、充分に充電された電池をセットしてください。
- 付属のAVケーブルがUSBクレードルに接続されていると、カメラの液晶モニターには何も表示されませんが、AVケーブルは必ずUSBクレードルからはずしてください。

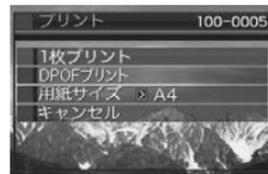
**5. カメラの電源を切り、カメラをUSBクレードルにセットする**

**6. プリンターの電源を入れる**

**7. プリンターに印刷用紙をセットする**

**8. USBクレードルの【USB】を押す**

カメラにプリントメニュー画面が表示されます。



**9. [▲][▼]で“用紙サイズ”を選び、[▶]を押す**

**10. [▲][▼]でプリントする用紙サイズを選び、【SET】を押す**

- 用紙サイズは次の通りです。  
“L判”、“2L判”、“はがき”、“A4”、“Letter”、“プリンタで設定”
- “プリンタで設定”を選ぶと、プリンター側で設定した用紙サイズでプリントされます。
- 用紙について設定できる内容は、接続したプリンターによって異なります。詳しくはプリンターの取扱説明書をご覧ください。

## 11. 【▲】【▼】でプリントの方法を指定する

1枚プリント : 1枚ずつプリントする場合に選び、【SET】を押します。続けて【◀】【▶】でプリントしたい画像を選びます。

DPOFプリント: 複数の画像やすべての画像をプリントする場合に選び、【SET】を押します。DPOF機能で設定した画像がプリントされます。設定方法については135ページをご覧ください。

日付設定の入/切を切り替えるには、【BS】を押します。“あり”を表示させると、日付がプリントされます。



## 12. 【▲】【▼】で“プリント”を選び、【SET】を押す

プリントが始まり、液晶モニターに“処理中ですしばらくお待ちください”と表示されます。しばらくすると表示が消えますが、プリントは終了していません。カメラのいずれかのボタンを押すと、プリントの状況が再び表示されます。プリントが終了すると、プリントメニュー画面に戻ります。

- “1枚プリント”で別の画像をプリントする場合は、手順11から同様の操作を行ってください。

## 13. プリントが終了したらUSBクレードルの【USB】を押す

カメラの電源が切れます。

## プリントする画像や枚数を指定しておく (DPOF)

DPOF (Digital Print Order Format) とは、撮影した画像の中から、プリントしたい画像や枚数などを設定し、その情報をメモリーカードなどの記録媒体に記録するための規格です。DPOF対応の家庭用プリンターやプリントサービス店でプリントすることができます。本機のDPOF機能を使えば、画像のファイル名などを意識することなく、液晶モニターで確認しながら設定ができます。



設定可能な内容は、画像/枚数/日付です。

### 重要

- お店でプリントをする場合、DPOF機能を利用できない場合や、他の方法でプリントを受け付けている場合があります。その際は、店頭のサービスにしたがってプリントをご依頼ください。

## ■ 画像ごとにプリント枚数を指定する

1. 再生モードにして【MENU】を押す
2. “再生機能”タブ→“DPOF”  
と選び、【▶】を押す



3. 【▲】【▼】で“選択画像”を選び、【▶】を押す
4. 【◀】【▶】でプリントしたい画像を表示させる
5. 【▲】【▼】でプリントする枚数を決める
  - プリント設定できる枚数は99枚までです。プリントしたくない場合は“00”にしてください。
6. 日付をプリントしたい場合は、【BS】を押して日付印刷を“あり”にする
  - 日付が不要なときは、【BS】を押して日付印刷を“なし”にします。
  - 他の画像をプリントする場合は、手順4～6を繰り返してください。
7. 【SET】を押す

## ■ すべての画像に同じプリント指定をする

1. 再生モードにして【MENU】を押す
2. “再生機能”タブ→“DPOF”と選び、【▶】を押す
3. 【▲】【▼】で“全画像”を選び、【▶】を押す
4. 【▲】【▼】でプリントする枚数を決める
  - プリント設定できる枚数は99枚までです。プリントしたくない場合は“00”にしてください。
5. 日付をプリントしたい場合は、【BS】を押して日付印刷を“あり”にする
  - 日付が不要なときは、【BS】を押して日付印刷を“なし”にします。
6. 【SET】を押す

## 次のプリント時に気をつけていただきたいこと

プリントが完了してもDPOFの設定は自動的に解除されません。次回プリント時にも前回設定した画像がある場合、同じ画像がプリントされてしまいます。以前プリントした画像をプリントしない場合は、一度「すべての画像に同じプリント指定をする」(136ページ)の操作で、全画像プリントの枚数設定を“00”にしてから、あらためてプリント枚数の設定をしてください。

## お店でプリントするときに気をつけていただきたいこと

お店にプリントを注文する場合は、注文時に「DPOFでプリントする画像、枚数、日付を設定済みです」とお伝えください。お伝えいただかないと、設定された内容(画像、枚数、日付)が反映されず、すべての画像がプリントされたり、日付がプリントされないことがあります。

### 重要

- プリンターによっては、日付の設定が無効になったり、DPOFに対応していない場合があります。プリンターの取扱説明書にしたがって操作してください。

## 日付プリントについて

以下の方法で、画像に撮影時の日付を入れてプリントすることができます。

- **本機のDPOF機能で指定する(135ページ)**
  - 本機のタイムスタンプ機能により、日付や時刻を写し込んだ画像にDPOFで日付印刷を設定すると、日付が2重に印刷されてしまいますので、DPOFによる日付印刷は設定しないでください。
  - プリンターによっては、日付の設定が無効になったり、DPOF機能に対応していない場合があります。プリンターの取扱説明書にしたがって操作してください。
  - プリントをするお店によってはDPOF機能に対応していない場合がありますので、あらかじめご確認ください。
- **本機のタイムスタンプ機能により日付や時刻を画像に直接写し込む(87ページ)。**
- **付属のソフト「Photohands」で指定する(Windowsパソコンの場合)**
  - Photohandsの取扱説明書(PDFファイル)をお読みください(PDFファイルは付属のCD-ROM内に収録されています)。
- **お店にプリントを注文するときに、日付プリントするよう依頼する**
  - プリントするお店によっては、日付をプリントできない場合がありますので、あらかじめご確認ください。

## 対応規格について

本製品は下記の規格に対応しています。

### ■ PictBridge/USB DIRECT-PRINT

- PictBridge(ピクトブリッジ):  
カメラ映像機器工業会(CIPA)制定の規格です。
- USB DIRECT-PRINT:  
セイコーエプソン株式会社提唱の規格です。



### ■ PRINT Image Matching III

PRINT Image Matching III 対応プリンターでの出力及び対応ソフトウェアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。

PRINT Image Matching及びPRINT Image Matching III に関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。



### ■ Exif Print

Exif Print(Exif2.2)は、対応プリンターをお使いの場合に画像ファイルに記録された撮影情報を印刷出力に反映させることを可能にします。

Exif Print対応プリンターの機種名やプリンターのバージョンアップ等については、各プリンターメーカーにお問い合わせください。



# パソコンを利用する

## パソコンを使ってできること

カメラを、付属のUSBクレードルを介してパソコンに接続して、次のことができます。

画像を見る/ 保存する※	カメラの画像をパソコンで見たり、パソコンに保存することができます。 <ul style="list-style-type: none"><li>Windowsパソコンの場合、OSのバージョンによっては、付属のUSBドライバをパソコンにインストールする必要があります。</li><li>Macintoshの場合、USBドライバのインストールは不要です。</li></ul>
画像を管理、編集、印刷する	パソコンに保存した画像に対して、付属のソフトを使っているいろいろな操作ができます。 <ul style="list-style-type: none"><li>以降の説明をお読みになり、必要なソフトをパソコンにインストールしてください。</li></ul>

※カメラとパソコンを接続せず、カメラから取り出したメモリーカードを直接パソコンにセットして、画像を見たり保存したりする方法もあります(158ページ)。

カメラとパソコン、付属のソフトを使ってできることや操作のしかたは、Windowsパソコンの場合とMacintoshパソコンの場合で異なります。

- Windowsパソコンの場合→「Windowsパソコンを利用する」(139ページ)
- Macintoshの場合→「Macintoshを利用する」(151ページ)

## Windowsパソコンを利用する

OSのバージョンおよび使用目的に応じて、必要なソフトをインストールしてください。

使用目的	OSのバージョン	インストールするソフト	参照ページ
• パソコンで画像を見る • パソコンに画像を保存する	XP/ 2000/ Me	— (USBドライバは不要です。)	—
	98SE/98	<b>USB driver Type B</b> (USBドライバです。必ずインストールしてください。)	142
パソコンに保存した画像の管理	XP/ 2000/ Me/ 98SE/98	<b>Photo Loader 3.0</b> <b>DirectX 9.0c</b> (パソコンにDirectX 9.0以上がないとき)	148
静止画のレタッチ/ 向き変更/ 印刷設定	XP/ 2000/ Me/ 98SE/98	<b>Photohands 1.0</b>	149

使用目的	OSのバージョン	インストールするソフト	参照ページ
動画の再生	XP/ 2000/ Me/ 98SE/98	<b>DirectX 9.0c</b> <sup>*</sup> Windows 2000/98SE/ 98の場合 パソコンにDirectX 9.0以上 がない場合はDirectX 9.0c もインストールする(149 ページ)。 • 付属のCD-ROMに Windows Media Player は収録されていません が、パソコンにすでにイ ンストールされている Windows Media Player で再生することができます。	150
動画の編集	XP/ 2000/ Me/ 98SE/98	- • 必要に応じて、市販のソ フトをご利用ください。	-

使用目的	OSのバージョン	インストールするソフト	参照ページ
取扱説明書 を表示	XP/ 2000/ Me/ 98SE	<b>Adobe Reader 6.0</b> (すでにインストールされ ているときは、不要)	150
	98	- • パソコンにAdobe ReaderまたはAdobe Acrobat Readerがイン ストールされていない場 合は、アドビシステムズ 社のホームページから Acrobat Reader 5.0.5を インストールしてくださ い。	-

## ■ パソコンの動作環境について

使用するソフトによって、必要な動作環境が異なりますので、必ず確認してください。また、各ソフトの動作環境はアプリケーションを動作させるために必要な最低限の性能です。取り扱う画像サイズや枚数によって、これ以上の性能を必要とします。

### USB driver Type B

- Windows XP/2000/Meの場合は、インストールする必要はありません。
- Windows 95/3.1からバージョンアップしたパソコンでは動作保証いたしません。

### Photo Loader 3.0

HD : 約40MB以上  
その他 : IE5.5以上、DirectX 9.0以上

### Photohands 1.0

HD : 約10MB以上

### DirectX 9.0c

HD : インストールに65MB(HDは18MB)

## Adobe Reader 6.0

CPU : Pentium  
メモリ : 32MB  
HD : 60MB  
その他 : IE5.01以上

### 重要

- 各ソフトの詳しい動作環境については、付属のCD-ROM(カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア)内の「お読みください」ファイルを参照して、確認してください。

## ■ 英語版のソフトを利用するときは

英語版のソフトを利用したいときは、CD-ROMから英語のソフトをインストールしてください。日本語版と英語版を同時にインストールしないでください。

- 英語版のソフトをインストールするときは、CD-ROMをパソコンにセットして、日本語のMENU画面が表示されたら、“Language”の“English”をクリックします。

## 画像をパソコンで見る/パソコンに保存する

USBクレードルを介してカメラをパソコンに接続して、画像(静止画や動画などのファイル)をパソコンで見たり、パソコンに保存することができます。

- Windowsのバージョンによっては、付属のCD-ROMからUSBドライバをインストールする必要があります。

## 操作の流れ

1. Windows 98SE/98の場合、USBドライバをインストールする(142ページ)  
Windows XP/2000/Meの場合は、手順2に進む



2. カメラとパソコンを、USBクレードルを使って接続する(143ページ)



3. 画像ファイルを見る/保存する(145ページ)

### ■ USBドライバをインストールする (98SE/98の場合のみ)

**USBドライバをインストールする前にカメラとパソコンを接続しない!**

パソコンがカメラを認識しなくなります。

Windows 98SE/98をお使いの場合、必ず最初にUSBドライバをインストールしてください。

**インストールが終わるまで、カメラとパソコンを接続しないでください。**

以下の操作手順は、Windows 98の場合です。Windows 98SEの場合、表示画面などが若干異なりますが、操作の流れは同じです。

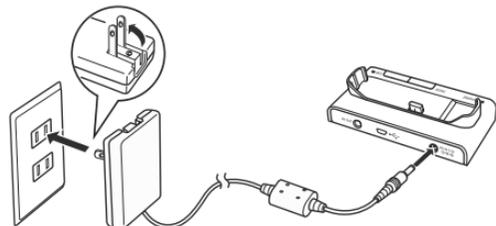
1. 付属のCD-ROM(カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア)をパソコンのCD-ROMドライブにセットする  
メニュー画面が表示されます。
2. “USB driver B”の“インストール”をクリックする  
インストールが始まります。
3. ダイアログの指示にしたがって“次へ”をクリックする
4. 完了の画面が表示されたら、“完了”をクリックする
  - セットアップ完了の画面が表示されると、ご使用のOSによってはパソコンの再起動を要求されることがあります。その場合は、再起動させます。
5. インストールが終わったら、“終了”をクリックしてメニューを終了してからCD-ROMを取り出す
  - 機種によってはパソコンが自動的に再起動する場合があります。そのときに、CD-ROMのメニューが表示される場合があります。“終了”をクリックしてメニューを終了してからCD-ROMを取り出してください。

## ■ カメラとパソコンを接続する

### 重要

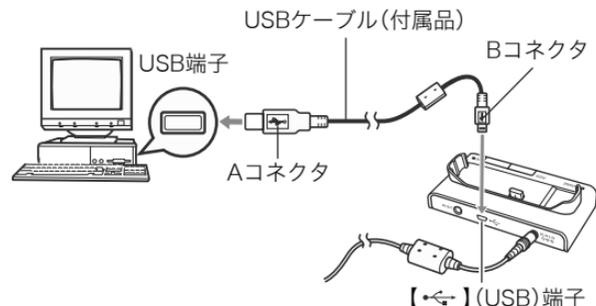
- ACアダプターを使用しないで、パソコンとファイルのやりとりを行った場合、電池が消耗していると、操作中にカメラの電源が切れる可能性があります。専用ACアダプターを使用することをおすすめします。

### 1. 付属のACアダプターをUSBクレードルの【DC IN 5.3V】と家庭用コンセントに接続する



- ACアダプターを使用しないときは、十分に充電された電池を使用してください。

### 2. 付属のUSBケーブルで、USBクレードルとパソコンのUSB端子を接続する



- USB端子の形状とケーブルの接続端子の形状を合わせて接続してください。
- USBコネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続しないと、正常に動作しません。

### 3. カメラの【ON/OFF】を押して電源を入れ、【MENU】を押す

- カメラはまだUSBクレードルにセットしないでください。

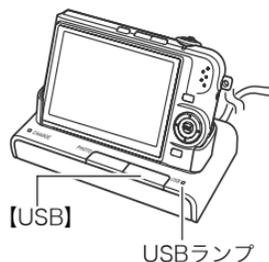
### 4. “設定”タブ→“USB”と選び、【▶】を押す

### 5. 【▲】【▼】で“Mass Storage”を選び、【SET】を押す

## 6. カメラの【ON/OFF】を押して電源を切ってから、カメラをUSBクレードルの上にセットする

- カメラの電源を入れたまま、USBクレードルの上にセットしないでください。
- 内蔵メモリーの画像をパソコンに保存する場合は、カメラからメモリーカードを取り出した状態でUSBクレードルにセットしてください。

## 7. USBクレードルの【USB】を押す



### カメラとパソコンを接続すると

USBクレードルはUSBモードになり、USBランプが緑色に点灯します。パソコンは、カメラ内のメモリーカードまたは内蔵メモリーを「リムーバブルディスク」として認識します。カメラのUSB設定を変更しない限り、次回からは手順3から5の操作は不要です。

- パソコンのOSの環境によっては、「リムーバブルディスク」ガイダンスが表示されることがあります。この場合は、ガイダンスを閉じてください。

### 重要

- 「カメラをUSBクレードルからはずす」(147ページ)の操作を行わずにケーブルを抜いたり、カメラをUSBクレードルからはずさないでください。画像データが破壊される恐れがあります。

### ■ 2回目以降のパソコンとの接続

次にカメラとパソコンを接続するときは、以下のようになります(USBドライバのインストールおよびメニューからの設定が不要になります)。

#### 1. カメラの【ON/OFF】を押して電源を切ってから、カメラをUSBクレードルの上にセットする

- カメラの電源を入れたまま、USBクレードルの上にセットしないでください。
- 内蔵メモリーの画像をパソコンに保存する場合は、カメラからメモリーカードを取り出した状態でUSBクレードルにセットしてください。

## 2. USBクレードルの【USB】を押す

- USBクレードルはUSBモードになり、USBランプが緑色に点灯します。



【USB】

## ■ カメラの画像をパソコンで見る

カメラとパソコンを接続した状態で、パソコンでカメラの画像を見ることができます。

- パソコンとの接続方法は「2回目以降のパソコンとの接続」(144ページ)をご覧ください。

1. Windows XPの場合：“スタート”→“マイコンピュータ”の順でクリックする  
Windows 2000/Me/98SE/98の場合：“マイコンピュータ”をダブルクリックする



Windows XPの場合

## 2. “リムーバブルディスク”をダブルクリックする

- メモリーカードまたは内蔵メモリーは、「リムーバブルディスク」として認識されています。



リムーバブルディスク

## 3. “DCIM”フォルダをダブルクリックする



DCIM

## 4. 見たい画像が入ったフォルダをダブルクリックする



## 5. 見たい画像ファイルをダブルクリックする

画像が表示されます。

- ファイル名については「メモリー内のフォルダ構造」(160ページ)を参照ください。



### 参考

- カメラ内で回転表示させた画像をパソコンで見た場合は、回転させる前の画像が表示されます。

## ■ 画像をパソコンに保存する

パソコンで画像を加工したりアルバムを作るには、画像をパソコン内に保存する必要があります。保存は、カメラをUSBケーブルを介してパソコンに接続した状態で行います。

- パソコンとの接続方法は「2回目以降のパソコンとの接続」(144ページ)をご覧ください。

1. Windows XPの場合：“スタート”→“マイコンピュータ”の順でクリックする  
Windows 2000/Me/98SE/98の場合：“マイコンピュータ”をダブルクリックする



Windows XPの場合

2. “リムーバブルディスク”をダブルクリックする

- メモリーカードまたは内蔵メモリーは、「リムーバブルディスク」として認識されています。



リムーバブルディスク

3. “DCIM”フォルダを右ボタンでクリックする



DCIM

#### 4. メニューの“コピー”をクリックする

#### 5. Windows XPの場合：“スタート”→“マイドキュメント”の順でクリックする

Windows 2000/Me/98SE/98の場合：“マイドキュメント”をダブルクリックして開く

- すでに“DCIM”フォルダが保存されている場合は、上書きされてしまいます。すでに保存されている“DCIM”フォルダの名前を変えるなどしてからコピーしてください。

#### 6. “マイドキュメント”メニューで、“編集”→“貼り付け”の順でクリックする

“DCIM”フォルダ(画像ファイルが保存されているフォルダ)が“マイドキュメント”フォルダにコピーされ、画像も一緒にパソコンに保存されます。

### 重要

- 内蔵メモリーやメモリーカード内の画像に対して、パソコンで修正・削除・移動・名前の変更などを行わないでください。画像管理データと整合性がとれず、カメラで再生できなくなったり、撮影枚数が極端に変わったりします。修正・削除・移動・名前の変更などはパソコンに保存した画像で行ってください。
- 画像を見たり保存している途中でケーブルを抜いたり、カメラやクレードルの操作を行わないでください。データが破壊される恐れがあります。

### ■ カメラをUSBクレードルからはずす

#### Windows XP/98SE/98の場合

USBクレードルの【USB】を押し、USBランプが消灯したのを確認してから、カメラをUSBクレードルから取りはずします。

#### Windows 2000/Meの場合

パソコン画面のタスクトレイのカードサービスを左クリックし、カメラに割り当てられているドライブ番号の停止を選択します。その後、USBクレードルの【USB】を押し、USBランプが消灯したのを確認してから、カメラをUSBクレードルから取りはずします。

### パソコンに保存した画像を管理する

パソコンに保存した画像を管理するには、付属のCD-ROMに収録されているPhoto Loaderをパソコンにインストールします。

#### 参考

- すでにパソコンにPhoto Loaderをインストールしている場合は、そのバージョンを確認してください。もしバージョンが古い場合は、古いバージョンのPhoto Loaderをアンインストールした後、新しいバージョンのPhoto Loaderをインストールしてください。

## ■ Photo Loaderをインストールする

1. パソコンを起動し、付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる
  - パソコンの設定によっては、自動的にメニュー画面が表示されない場合があります。その場合は、CD-ROMが割り当てられているドライブを開き、MENU.exeをダブルクリックしてください。
2. Photo Loaderの“お読みください”をクリックして、読む
  - インストールするために必要な条件や動作環境が書かれています。
3. Photo Loaderの“インストール”をクリックする
4. 画面の指示にしたがって操作する

Photo Loaderがインストールされます。

- Windows 98SE/98の場合  
Photo Loader のインストール後、Jet40SP8\_9xNT.exe およびMDAC (Microsoft Data Access Components) 2.8のインストール画面が表示された場合は、続けて画面の指示にしたがってインストールしてください。  
Jet40SP8\_9xNT.exeおよびMDAC 2.8以上がインストール済みの場合、インストール画面は表示されません。

- Windows XP(SP1を含む)/2000/Meの場合  
(Windows XP SP2は含みません)  
Photo Loader のインストール後、MDAC (Microsoft Data Access Components) 2.8のインストール画面が表示された場合は、続けて画面の指示にしたがってインストールしてください。MDAC 2.8以上がインストール済みの場合、インストール画面は表示されません。

### 重要

- Photo Loaderのバージョンアップ、再インストールやパソコンを変更する場合で、以前使用していたライブラリ情報を継続させる方法については、“お読みください”をご覧ください。手順通りにインストールしないと、以前のライブラリ管理情報やカレンダー形式のHTMLファイルがPhoto Loaderで見ることができなくなるばかりか、取り込んだ画像ファイルが消失する恐れがあります。

### DirectXの確認

Photo Loaderで取り込んだ画像を管理するには、パソコンにDirectX 9.0以上がインストールされている必要があります。パソコンの「DirectX 診断ツール」を見てDirectXのバージョンを確認してください。

1. パソコンのメニューで“スタート”→“すべてのプログラム”→“アクセサリ”→“システムツール”の順でたどり、“システム情報”を開く

2. メニューバーから“ツール”→“DirectX 診断ツール”の順で開く
3. “システム”タブをクリックし、“DirectX バージョン”が9.0以上であることを確認する
4. “終了”をクリックして「DirectX 診断ツール」を終了する
  - DirectX 9.0以上がインストールされている場合は、付属のCD-ROMに収録されている「DirectX 9.0c」をインストールする必要はありません。
  - DirectX 9.0以上がインストールされていない場合は、付属のCD-ROMに収録されている「DirectX 9.0c」をインストールしてください。

## 静止画像のレタッチ／向きの変更／印刷設定をする

静止画像のレタッチ、向きの変更や印刷設定をするには、付属のCD-ROMに収録されているPhotohandsをパソコンにインストールします。

### 重要

- すでにパソコンにPhotohandsをインストールしている場合は、そのバージョンを確認してください。もしバージョンが古い場合は、古いバージョンのPhotohandsをアンインストールした後、新しいバージョンのPhotohandsをインストールしてください。

## ■ Photohandsをインストールする

1. パソコンを起動し、付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる
  - パソコンの設定によっては、自動的にメニュー画面が表示されない場合があります。その場合は、CD-ROMが割り当てられているドライブを開き、MENU.exeをダブルクリックしてください。
2. “Photohands”の“お読みください”をクリックして、読む
  - インストールするために必要な条件や動作環境が書かれています。
3. “Photohands”の“インストール”をクリックする
4. 画面の指示にしたがって操作する  
Photohandsがインストールされます。

## 動画を再生する

動画はパソコンにすでにインストールされているWindows Media Playerで再生することができます。

### ■ 動画再生のご注意

- 必ず動画データはパソコンに保存してから再生してください。ネットワーク上やメモリーカードなどにある動画データを再生しても、正しく再生できない場合があります。
- お使いのパソコンの性能によっては、正しく動作しない場合があります。その場合は以下をお試しください。
  - 動画の画質を“標準-Normal”あるいは“長時間-LP”に設定して撮影する。
  - 最新のWindows Media Playerにバージョンアップする。
  - 開いている他のソフトウェアを閉じたり、常駐ソフトを止める。

## 取扱説明書(PDFファイル)を読む

1. パソコンを起動し、付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる
  - パソコンの設定によっては、自動的にメニュー画面が表示されない場合があります。その場合は、CD-ROMが割り当てられているドライブを開き、MENU.exeをダブルクリックしてください。

2. “取扱説明書”のお読みにになりたいアプリケーションソフトの名前をクリックする

### 重要

- 取扱説明書をお読みにするには、パソコンにAdobe ReaderまたはAdobe Acrobat Readerがインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、“ソフトのインストール”でAdobe Readerをインストールしてください。

## ユーザー登録をする

パソコンからインターネットを通してのみ、ユーザー登録をすることができます。ユーザー登録をするには、パソコンがインターネットに接続されている必要があります。

「カシオデジタルカメラオフィシャルWebサイト」へのユーザー登録となります。ユーザー登録で登録いただいた個人情報のお取り扱いに関しては、Webサイト上の「ご利用になる前に」に記載されていますので、ご確認ください。ユーザー登録はデジタルカメラ本体や付属ソフトのバージョンアップのご連絡その他情報発信を目的としています。付属ソフトウェアについては、ユーザー登録をしなくてもインストールや使用は可能です。

## 1. パソコンを起動し、付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

- パソコンの設定によっては、自動的にメニュー画面が表示されない場合があります。その場合は、CD-ROMが割り当てられているドライブを開き、MENU.exeをダブルクリックしてください。

## 2. “オンラインユーザ登録”をクリックする

Webブラウザソフトが起動し、ユーザー登録が可能になります。

## 3. 画面の指示にしたがってユーザー登録を行う

## 4. ユーザー登録が終了したら、インターネットの接続を終了する

- 下記のアドレスからもユーザー登録ができます。  
<http://www.casio.jp/reg/dc/>

## CD-ROMのメニューを終了する

CD-ROMのメニューを終了するには、“終了”をクリックします。

## Macintoshを利用する

Macintosh OSのバージョンおよび使用目的に応じて、必要なソフトをインストールしてください。

使用目的	OSのバージョン	インストールするソフト	参照ページ
<ul style="list-style-type: none"><li>パソコンで画像を見る</li><li>パソコンに画像を保存する</li></ul>	OS 9/ OS X	— (USBドライバは不要です。)	152
パソコンに保存した画像の管理	OS 9	<b>Photo Loader 1.1</b>	156
	OS X	— <ul style="list-style-type: none"><li>OSにバンドルされているiPhotoが利用できます。</li></ul>	—
動画の再生	OS 9/ OS X	— <ul style="list-style-type: none"><li>OSにバンドルされているQuickTimeで再生できます。</li></ul>	157
取扱説明書を表示	OS 9/ OS X	— <ul style="list-style-type: none"><li>OSにバンドルされているAdobe ReaderまたはAdobe Acrobat Readerが利用できます。</li></ul>	157

## 参考

- Photo Loader 1.1では、画像のプリントはできません。市販のプリント用ソフトをご利用ください。

## ■ パソコンの動作環境について

使用するソフトによって、必要な動作環境が異なりますので、必ず確認してください。また、各ソフトの動作環境はアプリケーションを動作させるために必要な最低限の性能です。取り扱い画像サイズや枚数によって、これ以上の性能を必要とします。

### Photo Loader 1.1

メモリ : 32MB

HD : 約3MB以上

USB接続は、Mac OS 9/Xで可能です。標準搭載のドライバで動作しますので、そのままUSBケーブルでカメラとパソコンを接続してください。

## 重要

- 各ソフトの詳しい動作環境については、付属のCD-ROM (カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア)内の「お読みください」ファイルを参照して、確認してください。
- 付属のCD-ROM (カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア)は、Mac OS Xには対応していません。

## 画像をパソコンで見る／パソコンに保存する

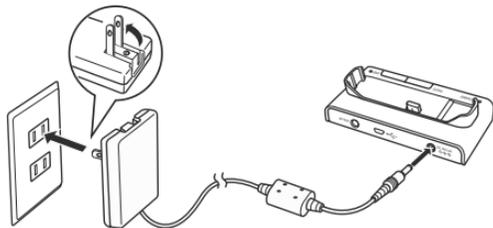
USBクレードルを介してカメラをパソコンに接続して、画像(静止画や動画などのファイル)をパソコンで見たり、パソコンに保存することができます。

## 重要

- Mac OS 8.6以前、またはMac OS Xの10.0ではご使用できません。Mac OS 9、X(10.1、10.2、10.3、10.4)のみで使用できます(OS標準のUSBドライバを使用)。

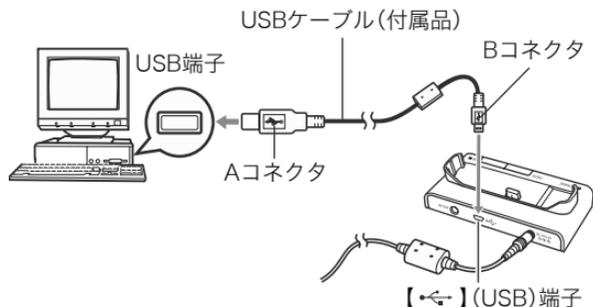
## ■ カメラとパソコンを接続する

1. 付属のACアダプターをUSBクレードルの【DC IN 5.3V】と家庭用コンセントに接続する



- ACアダプターを使用しないときは、十分に充電された電池を使用してください。

**2. 付属のUSBケーブルで、USBクレードルとパソコンのUSB端子を接続する**

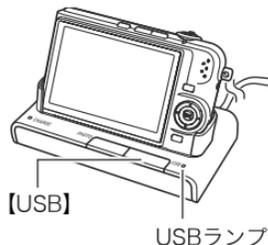


- USB端子の形状とケーブルの接続端子の形状を合わせて接続してください。
  - USBコネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続しないと、正常に動作しません。
- 3. カメラの【ON/OFF】を押して電源を入れ、【MENU】を押す**
- カメラは、まだUSBクレードルにセットしないでください。
- 4. “設定”タブ→“USB”と選び、【▶】を押す**
- 5. 【▲】【▼】で“Mass Storage”を選び、【SET】を押す**

**6. カメラの【ON/OFF】を押して電源を切り、カメラをUSBクレードルの上にセットする**

- カメラの電源を入れたまま、USBクレードルの上にセットしないでください。
- 内蔵メモリーの画像をパソコンに保存する場合は、カメラからメモリーカードを取り出した状態でUSBクレードルにセットしてください。

**7. USBクレードルの【USB】を押す**



## カメラとパソコンを接続すると

USBクレードルがUSBモードになり、USBランプが緑色に点灯します。パソコンは、カメラ内のメモリーカードまたは内蔵メモリーを「ドライブ」として認識します。Mac OSのバージョンにより、表示されるアイコンが異なる場合があります。

カメラのUSB設定を変更しない限り、次回からは手順3から5の操作は不要です。

### 重要

- 「カメラをUSBクレードルからはずす」(156ページ)の操作を行わずにケーブルを抜いたり、カメラをクレードルからはずさないでください。画像のデータが破壊される恐れがあります。



## ■ 2回目以降のパソコンとの接続

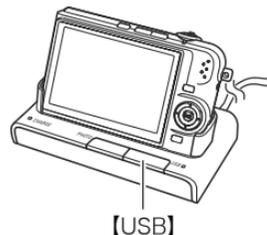
次にカメラとパソコンを接続するときは、以下のようにします(メニューからの設定が不要になります)。

### 1. カメラの【ON/OFF】を押して電源を切ってから、カメラをUSBクレードルの上にセットする

- カメラの電源を入れたまま、USBクレードルの上にセットしないでください。
- 内蔵メモリーの画像をパソコンに保存する場合は、カメラからメモリーカードを取り出した状態でUSBクレードルにセットしてください。

### 2. USBクレードルの【USB】を押す

USBクレードルがUSBモードになり、USBランプが緑色に点灯します。



## ■ カメラの画像をパソコンで見る

カメラとパソコンを接続した状態で、パソコンでカメラの画像を見ることができます。

- パソコンとの接続方法は「2回目以降のパソコンとの接続」(154ページ)をご覧ください。

1. 表示されたドライブをダブルクリックする
2. 「DCIM」フォルダをダブルクリックする
3. 見たい画像の入ったフォルダをダブルクリックする
4. 見たい画像ファイルをダブルクリックする  
画像が表示されます。

### 重要

- パソコンのモニターに同一の画像を表示したまま放置しないでください。残像現象(画面焼け)の原因になります。

### 参考

- カメラ内で回転表示させた画像をパソコンで見た場合は、回転させる前の画像が表示されます。

## ■ 画像をパソコンに保存する

パソコンで画像を加工したりアルバムを作るには、画像をパソコン内に保存する必要があります。保存は、カメラをUSBケーブルを介してパソコンに接続した状態で行います。

- パソコンとの接続方法は「2回目以降のパソコンとの接続」(154ページ)をご覧ください。

1. 表示されたドライブをダブルクリックする
2. 「DCIM」フォルダを保存したいフォルダにドラッグアンドドロップする  
「DCIM」フォルダがMacintosh内のフォルダにコピーされます。

- ドラッグアンドドロップとは、マウスのポインタ(矢印)が画像ファイルのアイコン上に重なった状態でマウスのボタンを押し、そのままマウスを移動(ドラッグ)させて、別の場所でマウスのボタンを離す(ドロップ)操作のことをいいます。

## 重要

- 内蔵メモリーやメモリーカード内の画像に対して、パソコンで修正・削除・移動・名前の変更などを行わないでください。画像管理データと整合性がとれず、カメラで再生できなくなったり、撮影枚数が極端に変わったりします。修正・削除・移動・名前の変更などはパソコンにコピーした画像で行ってください。
- 画面を見たり保存している途中でケーブルを抜いたり、カメラやクレードルの操作を行わないでください。データが破壊される恐れがあります。

### ■ カメラをUSBクレードルからはずす

1. 画面上のカメラのドライブをゴミ箱へドラッグアンドドロップする
2. USBクレードルの【USB】を押し、USBランプが消灯しているのを確認してから、カメラをUSBクレードルから取りはずす

## パソコンに保存した画像を管理する

Mac OS Xをお使いの場合は、OSにバンドルされているiPhotoを使って静止画像の管理ができます。

Mac OS 9をお使いの場合、パソコンに取り込んだ画像を管理するには、付属のCD-ROMに収録されているPhoto Loaderをパソコンにインストールします。

### ■ Photo Loaderをインストールする

インストールする前に、Photo Loaderの「はじめにお読みください」を必ずお読みください。インストールするために必要な条件や動作環境が書かれています。

1. 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする
2. CD-ROM内の“CD-ROMの使いかた”ファイルを開く
3. “ソフトウェアについて”をクリックする
4. インストールするソフトウェア名をクリックしてインストール方法を確認する
5. 画面の説明にしたがってインストールする

## 重要

- Photo Loaderのバージョンアップ、再インストールやパソコンを変更する場合で、以前使用していたライブラリ情報を継続させる方法については、「お読みください」ファイルをご覧になり、手順を確認してください。手順通りにインストールしないと、以前のライブラリ管理情報やカレンダー形式のHTMLファイルがPhotoLoaderで見ることができなくなるばかりか、取り込んだ画像ファイルが消失する恐れがあります。

## 動画を再生する

動画は、OSにバンドルされているQuickTimeで再生することができます。

### ■ 動画再生時のご注意

お使いのMacintoshの性能によっては、正しく動作しない場合があります。その場合は、以下をお試ください。

- 動画の画質を“標準-Normal”あるいは“長時間-LP”にして撮影する
- 最新のQuickTimeにバージョンアップする
- 実行中の他のソフトウェアを終了する

なお、付属のAVケーブルを使って、映像入力端子を持ったMacintoshやテレビにつないで再生できます。

## 取扱説明書(PDFファイル)を読む

1. 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする
2. CD-ROM内の“CD-ROMの使いかた”ファイルを開く
3. “取扱説明書を読む”をクリックする
4. 読みたいソフトウェア名をクリックする  
取扱説明書が表示されます。

## 重要

- 取扱説明書をお読みにするには、パソコンにAdobe ReaderまたはAdobe Acrobat Readerがインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページよりAdobe Readerをダウンロードして、Adobe Readerをインストールしてください。

## ユーザー登録をする

パソコンからインターネットを通してのみ、ユーザー登録をすることができます。「カシオデジタルカメラオフィシャルWebサイト」で登録を行ってください。

ユーザー登録アドレス <http://www.casio.jp/reg/dc/>  
ユーザー登録で登録いただいた個人情報のお取り扱いに関しては、Webサイト上の「ご利用になる前に」に記載されていますので、ご確認ください。ユーザー登録はデジタルカメラ本体や付属ソフトのバージョンアップのご連絡その他情報発信を目的としています。付属ソフトウェアについては、ユーザー登録をしなくてもインストールや使用は可能です。

## メモリーカードを直接パソコンに接続して画像を保存する

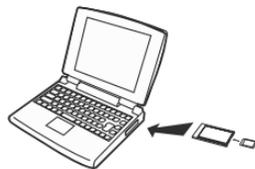
パソコンの機種によって接続方法が異なります。代表的な接続方法は次の通りです。接続後はUSBクレードル経由の接続時と同様な操作で画像の保存ができます。

### ■ メモリーカードスロットのある機種

メモリーカードを直接差し込みます。

### ■ PCカードスロットのある機種

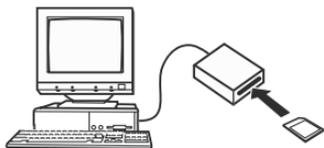
市販のPCカードアダプター(SDメモリーカード/MMC用)を使用します。具体的な使用方法は、PCカードアダプターとパソコンに付属の取扱説明書を参照ください。



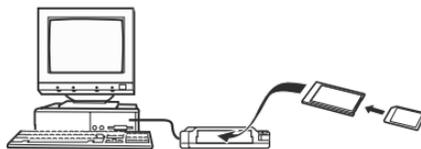
## ■ 前記以外の機種

以下のどちらかの方法で接続します。

- 市販のSDメモリーカード用リーダー/ライターを使用します。具体的な使用方法は、SDメモリーカード用リーダー/ライターに付属の取扱説明書を参照ください。



- 市販のPCカード用リーダー/ライターと市販のPCカードアダプター (SDメモリーカード/MMC用)を使用します。具体的な使用方法は、PCカード用リーダー/ライターとPCカードアダプターに付属の取扱説明書を参照ください。



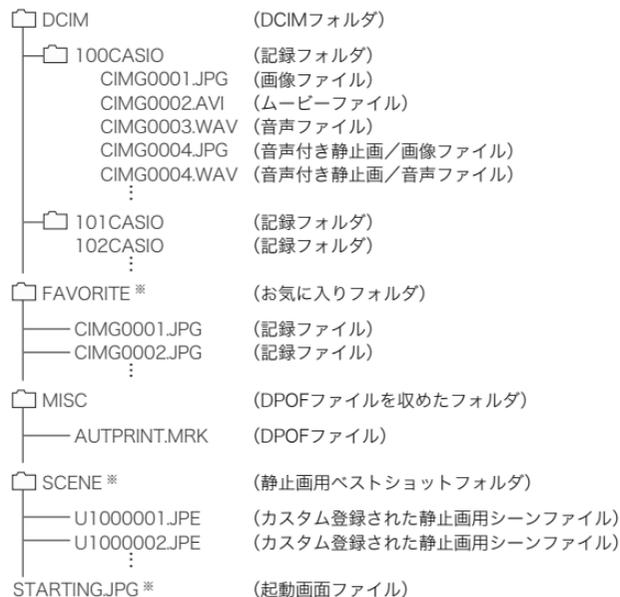
## メモリー内のデータについて

本機で撮影された画像やその他のデータは、DCF (Design rule for Camera File system) 規格に準拠した方法でメモリーへ保存されます。

## ■ DCF規格について

DCF規格対応の機器 (デジタルカメラやプリンターなど) の間で画像の互換性があります。画像ファイルのデータ形式やメモリー内のフォルダ構造に規定がありますので、本機で撮影した画像をDCF規格対応の他社のカメラで見たり、この規格対応の他社のプリンターで印刷したりすることができます。逆にDCF規格対応の他社のデジタルカメラの画像も本機で見ることができます。

## ■ メモリー内のフォルダ構造



※ 内蔵メモリー内にのみ作成されるフォルダです。

## フォルダ/ファイルの内容

- DCIMフォルダ:  
カメラで扱うファイルすべてを取めたフォルダです。
- 記録フォルダ:  
カメラで記録したファイルを取めたフォルダです。
- 画像ファイル:  
カメラで撮影した画像ファイルです。拡張子は「JPG」です。
- ムービーファイル:  
カメラで撮影したムービーファイルです。拡張子は「AVI」です。
- 音声ファイル:  
音声を記録したファイルです。拡張子は「WAV」です。
- 音声付き静止画/画像ファイル:  
音声付き静止画の画像を記録したファイルです。拡張子は「JPG」です。
- 音声付き静止画/音声ファイル:  
音声付き静止画の音声を記録したファイルです。拡張子は「WAV」です。
- お気に入りフォルダ:  
お気に入りの画像ファイルを取めたフォルダです。320×240pixelsの画像として取められています。
- DPOFファイルを取めたフォルダ:  
DPOFファイルなどを取めたフォルダです。
- 静止画用ベストショットフォルダ:  
カスタム登録された静止画用シーンファイルを取めたフォルダです。

- カスタム登録された静止画用シーンファイル:  
ベストショットモードの静止画撮影で使用されるファイルです。
- 起動画面ファイル:  
起動画面を記録したファイルです。起動画面を設定した場合に作成されます。

## ■ このカメラで扱える画像ファイル

- 本機で撮影した画像ファイル
- DCF規格に対応している画像ファイル

DCF規格の画像ファイルでも、使用できない機能がある場合があります。また、本機以外で撮影された画像の場合、再生にかかる時間が長くなる場合があります。

## ■ パソコン上で内蔵メモリー／メモリーカードを扱うときのご注意

- メモリーの内容をパソコンのハードディスクやCD-R、MOディスクなどに保存する際は“DCIM”フォルダごと保存してください。その際“DCIM”フォルダの名前を年月日などに覚えておくと、あとで整理するときに便利です。ただし、パソコンのハードディスクなどに保存したファイルを再度メモリーに戻して本機で再生する場合は、フォルダ名をパソコン上で“DCIM”に戻してからご使用ください。本機では“DCIM”以外の名前フォルダは認識されません。“DCIM”フォルダ内の他のフォルダ名を変えた場合も同様です。元の名前に戻してから使用してください。
- フォルダやファイルをカメラで正しく認識させるためには、メモリー内のフォルダ構造が160ページのフォルダ構造の通りである必要があります。

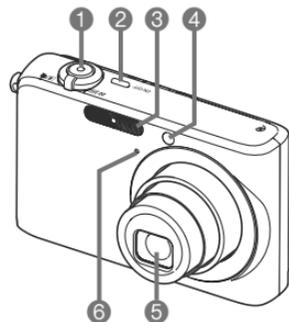
# 付録

## 各部の名称

各部の説明が記載されている主なページを( )内に示します。

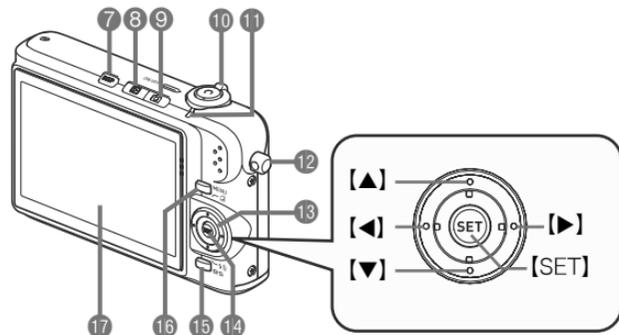
### ■ カメラ本体

#### 前面



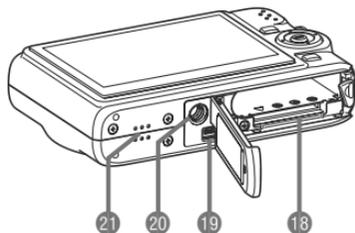
- ① シャッター (44ページ)
- ② 【ON/OFF】(電源)  
(28ページ)
- ③ フラッシュ (52ページ)
- ④ AF補助光/  
セルフタイマーランプ  
(43, 47, 56, 170ページ)
- ⑤ レンズ
- ⑥ マイク (63, 114ページ)

#### 後面



- ⑦ 【DISP】ボタン (35ページ)
- ⑧ 【▶】(再生)ボタン  
(28, 129ページ)
- ⑨ 【📷】(撮影)ボタン  
(28, 129ページ)
- ⑩ ズームレバー  
(49, 101ページ)
- ⑪ 動作確認用ランプ  
(28, 44, 170ページ)
- ⑫ ストラップ取り付け部  
(2ページ)
- ⑬ コントロールボタン  
(【▲】【▼】【◀】【▶】)
- ⑭ 【SET】ボタン
- ⑮ 【BS】ボタン (64ページ)
- ⑯ 【MENU】ボタン  
(34ページ)
- ⑰ 液晶モニター  
(35, 45ページ)

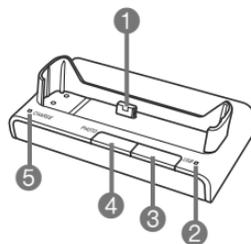
## 底面



- 18 電池／メモリーカード挿入部(24, 31ページ)
- 19 クレードル接続端子(25ページ)
- 20 三脚穴  
三脚に取り付けるときに使用します。
- 21 スピーカー(95ページ)

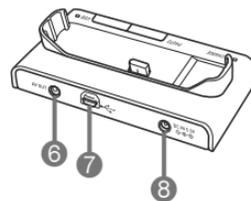
## ■ USBクレードル

### 前面



- 1 カメラ接続端子  
(25ページ)
- 2 USBランプ  
(144, 153, 172ページ)
- 3 【USB】ボタン  
(135, 144, 153ページ)
- 4 【PHOTO】ボタン  
(98, 99ページ)
- 5 【CHARGE】ランプ  
(25, 172ページ)

### 後面



- 6 【AV OUT】(AV出力)端子  
(99ページ)
- 7 【】(USB)端子  
(134, 143, 152ページ)
- 8 【DC IN 5.3V】(外部電源)  
端子(25ページ)

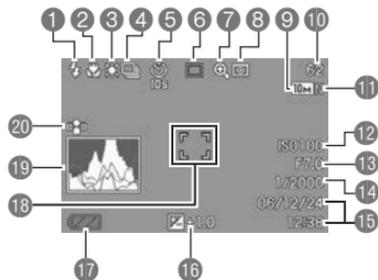
## 液晶モニターの表示内容

液晶モニターには、さまざまな情報が、アイコンや数字などで表示されます

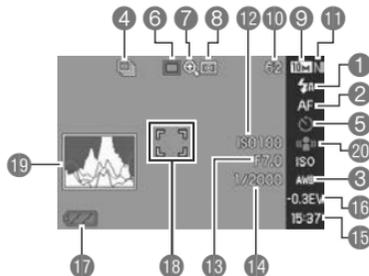
- 下の画面は、情報が表示される位置を示すためのものです。液晶モニターが実際にこの画面ようになることはありません。

### ■ 静止画撮影モード時

ノーマル



操作パネル



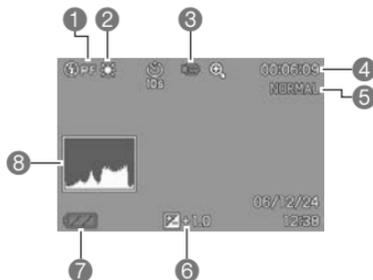
- 1 フラッシュモード (52ページ)
- 2 フォーカス方式 (74ページ)
- 3 ホワイトバランス設定 (82ページ)
- 4 連写モード (58ページ)
- 5 セルフタイマーモード (56ページ)
- 6 撮影の種類
- 7 デジタルズーム表示 (50ページ)
- 8 測光方式 (85ページ)
- 9 静止画の画像サイズ (46ページ)
- 10 静止画撮影可能枚数 (180ページ)
- 11 静止画の画質 (47ページ)
- 12 ISO感度 (84ページ)
- 13 絞り値 (45ページ)
- 14 シャッター速度 (45ページ)
- 15 日付/時刻 (127ページ)
- 16 露出補正 (80ページ)
- 17 電池残量 (26ページ)
- 18 フォーカスフレーム (44, 77ページ)
- 19 ヒストグラム (88ページ)
- 20 ブレ軽減 (67ページ)

### 重要

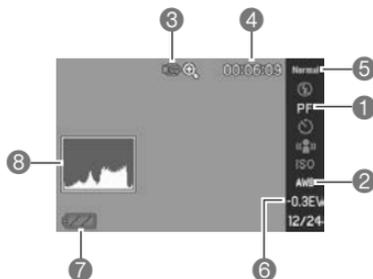
- 絞りと、シャッター速度、ISO感度は、AE (自動露出) が適正でない場合、シャッターを半押ししたときオレンジ色で表示されます。

## ■ 動画撮影モード時

ノーマル

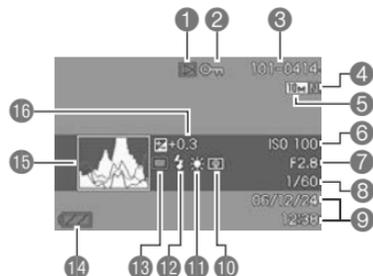


操作パネル



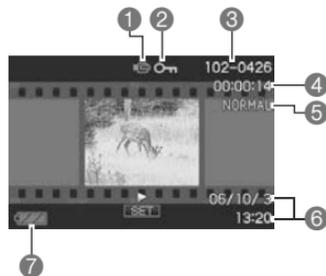
- ① フォーカス方式(74ページ)
- ② ホワイトバランス設定(82ページ)
- ③ 撮影の種類
- ④ 動画の残り撮影時間(63ページ)
- ⑤ 動画の画質(62ページ)
- ⑥ 露出補正(80ページ)
- ⑦ 電池残量(26ページ)
- ⑧ ヒストグラム(88ページ)

## ■ 静止画再生モード時



- ① ファイル形態(94ページ)
- ② プロテクト表示(118ページ)
- ③ フォルダ名/ファイル名(117ページ)
- ④ 静止画の画質(47ページ)
- ⑤ 静止画の画像サイズ(46ページ)
- ⑥ ISO感度(84ページ)
- ⑦ 絞り値(45ページ)
- ⑧ シャッター速度(45ページ)
- ⑨ 日付/時刻(127ページ)
- ⑩ 測光方式(85ページ)
- ⑪ ホワイトバランス設定(82ページ)
- ⑫ フラッシュモード(52ページ)
- ⑬ 撮影の種類
- ⑭ 電池残量表示(26ページ)
- ⑮ ヒストグラム(88ページ)
- ⑯ 露出補正(80ページ)

## ■ 動画再生モード時



- ① ファイル形態(95ページ)
- ② プロテクト表示(118ページ)
- ③ フォルダ名/ファイル名(117ページ)
- ④ 動画の撮影時間(95ページ)
- ⑤ 動画の画質(62ページ)
- ⑥ 日付/時刻(127ページ)
- ⑦ 電池残量表示(26ページ)

### アイコンガイドについて

撮影モードのとき、液晶モニター上でアイコンの意味を確認しながら操作できます。アイコンガイドを非表示にすることもできます(91ページ)。

- アイコンの意味を確認できる機能は、次の通りです。  
フラッシュ、測光方式、ホワイトバランス、セルフタイマー、EVシフト
- ただし、測光方式、ホワイトバランス、セルフタイマー、EVシフトのアイコンの意味は、キーカスタマイズ機能(90ページ)を“測光方式”、“ホワイトバランス”、“セルフタイマー”、“EVシフト”に設定したときだけ表示されます。

## メニュー一覧表

【MENU】を押したときに表示されるメニューの一覧表です。撮影モード、再生モードでそれぞれ項目が異なります。

- 「\*」この印のある項目は初期値です。

## 撮影モード

### ■ “撮影設定”タブ

フォーカス方式	AF (オートフォーカス)* /  マクロ / PF (パンフォーカス) /  (無限遠) / MF (マニュアルフォーカス)
連写	通常連写 / 高速連写 / フラッシュ連写 / ズーム連写 / 切*
セルフタイマー	10秒 / 2秒 / ×3 / 切*
ブレ軽減	オート / 切*
AFエリア	 スポット* /  マルチ
AF補助光	入* / 切
クイックズーム	×3 / ×2 / ×1.4* / 切
デジタルズーム	入* / 切
左右キー設定	測光方式 / EVシフト / ホワイトバランス / ISO感度 / セルフタイマー / 切*
クイックシャッター	入* / 切

音声付静止画	入 / 切*
グリッド表示	入 / 切*
撮影レビュー	入* / 切
アイコンガイド	入* / 切
モードメモリ	 ベストショット: 入 / 切* フラッシュ: 入* / 切 フォーカス方式: 入 / 切* ホワイトバランス: 入 / 切* ISO感度: 入 / 切* AFエリア: 入* / 切 測光方式: 入 / 切* セルフタイマー: 入 / 切* フラッシュ光量: 入 / 切* デジタルズーム: 入* / 切 MF位置: 入 / 切* ズーム位置: 入 / 切*

## ■ “画質設定”タブ

サイズ	10M(3648×2736)*／3:2(3648×2432)／16:9(3648×2048)／5M(2560×1920)／3M(2048×1536)／2M(1600×1200)／VGA(640×480)
画質(静止画)	高精細-F／標準-N*／エコノミー-E
画質(動画)	高品位-HQ*／標準-Normal／長時間-LP
EV シフト	-2.0／-1.7／-1.3／-1.0／-0.7／-0.3／0.0*／+0.3／+0.7／+1.0／+1.3／+1.7／+2.0
ホワイトバランス	オート*／ 太陽光／ 曇天／ 日陰／ N昼白色／ D昼光色／ 電球／マニュアル
ISO感度	オート*／ISO 50／ISO 100／ISO 200／ISO 400
測光方式	マルチ*／ 中央重点／ スポット
フィルター	切*／白黒／セピア／赤／緑／青／黄／ピンク／紫
シャープネス	+2／+1／0*／-1／-2
彩度	+2／+1／0*／-1／-2
コントラスト	+2／+1／0*／-1／-2
フラッシュ光量	+2／+1／0*／-1／-2
フラッシュアシスト	オート*／切

## ■ “設定”タブ

操作音	起動音*／ハーフシャッター／シャッター／操作音／ 操作音／ 再生音
起動画面	入(画像選択)／切*
ファイルNo.	メモリする*／メモリしない
ワールドタイム	自宅*／訪問先
	ホームタイムの詳細設定(都市名、サマータイムなど)
	ワールドタイムの詳細設定(都市名、サマータイムなど)
タイムスタンプ	日付／日付+時刻／切*
日時設定	日付と時刻の設定
表示スタイル	年/月/日／日/月/年／月/日/年
Language	日本語／English／Francais／Deutsch／Espagnol／Italiano／Portugues
スリープ	30秒／1分*／2分／切
オートパワーオフ	2分*／5分
REC/PLAY	パワーオン*／パワーオン/オフ/切
USB	Mass Storage (USB DIRECT-PRINT)*／PTP (PictBridge)
ビデオ出力	NTSC 4:3*／NTSC 16:9／PAL 4:3／PAL 16:9

フォーマット	フォーマット/キャンセル*
リセット	リセット/キャンセル*

## 再生モード

### ■ “再生機能”タブ

スライドショー	開始*/表示画像/時間/間隔/ エフェクト/キャンセル
カレンダー表示	—
モーション プリント	9コマで作成*/1コマで作成/キャンセル
ムービーカット	 (前)カット/  (中)カット/  (後)カット/キャンセル*
アングル補正	—
退色補正	—
お気に入り	表示*/登録/キャンセル
DPOF	選択画像*/全画像/キャンセル
プロテクト	オン*/全ファイル オン/キャンセル
日時編集	—
回転表示	回転*/キャンセル
リサイズ	5M(2560×1920)/3M(2048×1536)*/ VGA(640×480)/キャンセル
トリミング	—
アフレコ	—
コピー	内蔵→カード*/カード→内蔵/キャンセル

## ■ “設定”タブ

- 再生モードの“設定”タブの内容は、撮影モードの“設定”タブと同じです。

## 表示メニュー一覧表

[DISP]を押したときに表示される表示メニューの一覧表です。主に画面表示に関する設定ができます。撮影モード、再生モードでそれぞれ項目が異なります。

- 「\*」この印のある項目は初期値です。

## 撮影モード

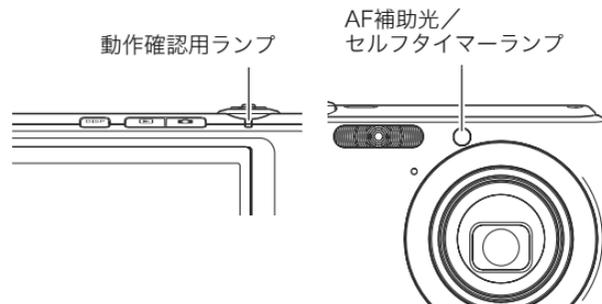
レイアウト	操作パネル*/ノーマル
情報	情報表示あり*/ヒストグラム付/切
明るさ	オート*/+2/+1/0/-1
画質	ダイナミック*/鮮やか/リアル/ ナイトモード/パワーセーブ

## 再生モード

レイアウト	ノーマル/ワイド*
情報	撮影モードの設定と共通になります。
明るさ	撮影モードの設定と共通になります。
画質	撮影モードの設定と共通になります。

## ランプの状態と表示内容

カメラ本体には動作確認用ランプとAF補助光/セルフタイマーランプの2つのランプがあります。これらのランプは、カメラの動作内容によって、点灯したり点滅したりします。



※ ランプの点滅間隔は3種類あります。点滅1では1秒間に1回、点滅2では1秒間に2回、点滅3では1秒間に4回点滅します。

## 撮影モード時

動作確認用ランプ			AF補助光/ セルフタイ マーランプ	内容
緑	赤	オレンジ	赤	
点灯				起動中(電源オン時、撮影可)
		点滅3		フラッシュ充電中
	点灯			フラッシュ充電完了
点灯				オートフォーカス合焦
点滅3				オートフォーカス合焦不可
点灯				LCDオフ/スリープ中
点滅2				撮影記録中
点滅1				ムービー取り込み中/画像処理中
			点滅1	セルフタイマーカウントダウン10~3秒前
			点滅2	セルフタイマーカウントダウン3~0秒前
	点滅1			フラッシュ充電不可
	点滅2			メモリーカード異常/メモリーカード未フォーマット/ カスタム登録不可
	点灯			メモリーカードロック/フォルダ作成不可/メモリーフル/ 書き込みエラー

動作確認用ランプ			AF補助光/ セルフタイ マーランプ	内容
緑	赤	オレンジ	赤	
	点滅3			電池交換警告
点滅3				フォーマット中
点滅3				終了中(電源オフ時)

### 重要

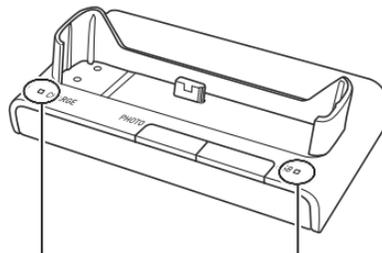
- カメラにメモリーカードを入れているときは、【動作確認用ランプ】が緑色に点滅中にメモリーカードを取り出すことは絶対にお止めください。撮影された画像がメモリーカードに記録されずに消えてしまいます。

## 再生モード時

動作確認用ランプ			AF補助光/ セルフタイ マーランプ	内容
緑	赤	オレンジ	赤	
点灯				起動中(電源オン時、撮影可)
点滅3				消去実行中/DPOF実行中/ プロテクト実行中/コピー実 行中/フォーマット中/リサ イズ処理中/トリミング処理 中/アフレコ処理中/アング ル補正中/退色補正中/モー ションプリント処理中/ムー ビーカット処理中/終了中(電 源オフ時)
	点滅2			メモリーカード異常/メモ リーカード未フォーマット
	点灯			メモリーカードロック/フォ ルダ作成不可/メモリーフル
	点滅3			電池交換警告

## USBクレードルのランプ

USBクレードルには【CHARGE】と【USB】の2つのランプがあり  
ます。これらのランプは、USBクレードルの動作内容によって、  
点灯したり点滅したりします。



【CHARGE】ランプ

【USB】ランプ

【CHARGE】ランプ		【USB】ランプ		内容
色	状態	色	状態	
赤	点灯			充電中
緑	点灯			充電終了
オレンジ	点灯			充電待機中
赤	点滅			充電エラー
		緑	点灯	USB接続状態
		緑	点滅	メモリーアクセス中

## 故障かな？と思ったら

### 現象と対処方法

現象	考えられる原因	対処
<b>電源について</b>		
電源が入らない。	1) 電池が正しい向きに入っていない。 2) 電池が消耗している。	1) 電池を正しい向きに入れてください(24ページ)。 2) 電池を充電してください(24ページ)。それでもすぐに電池が消耗するときは電池の寿命です。別売のリチウムイオン充電電池(NP-40)をお買い求めください。
電源が勝手に切れた。	1) オートパワーオフが働いた(29ページ)。 2) 電池が消耗している。	1) 再度電源を入れ直してください。 2) 電池を充電してください(24ページ)。
<b>撮影について</b>		
シャッターを押しても撮影できない。	1) 再生モードになっている。 2) フラッシュの充電中である。 3) “メモリがいっぱいです”と表示されている。	1)  (撮影)を押して撮影モードにしてください。 2) フラッシュの充電が終わるまで待ってください。 3) パソコンに画像を転送後、不要な画像を消去するか、別のメモリーカードをセットしてください。
オートフォーカスなのにピントが合わない。	1) レンズが汚れている。 2) 被写体がフォーカスフレームの中央にない。 3) ピントの合いにくい被写体である(48ページ)。  4) 手ブレしている。 5) シャッターを半押しせず、クイックシャッターで撮っている。	1) レンズの汚れを取る。 2) 被写体をフォーカスフレームの中央に合わせる。 3) マニュアルフォーカスモードに切り替えて手動でピントを合わせる(79ページ)。 4) 三脚を使用してください。 5) シャッターの半押しを確実に行ってピントを合わせてください。
撮影した画像の被写体がボケている。	ピントが合っていない。	ピントを合わせたい被写体にフォーカスフレームを合わせて撮影してください。

現象	考えられる原因	対処
フラッシュが発光しない。	1) フラッシュの発光方法が“  ” (発光禁止) になっている。 2) 電池が消耗している。 3) ベストショットモードでフラッシュが“  ” (発光禁止) のシーンを選んでいる。	1) フラッシュの発光方法を他の方法に切り替える(52ページ)。 2) 電池を充電してください(24ページ)。 3) 必要に応じて、フラッシュの発光方法を切り替えるか(52ページ)、撮影したいシーンを選び直して(64ページ)ください。
セルフタイマーでの撮影の途中で電源が切れた。	電池が消耗している。	電池を充電してください(24ページ)。
液晶モニターに表示される画像のピントがあまい。	1) マニュアルフォーカスモードでピント合わせがずれている。 2) 被写体が風景や人物なのに、“  ” (マクロモード) になっている。 3) 接写しているのに、オートフォーカスモードや“  ” (無限遠モード) になっている。	1) ピントを合わせる(79ページ)。 2) 風景や人物を撮影する場合は、オートフォーカスモードにする。 3) 接写撮影をする場合は“  ” (マクロモード) にする。
撮影したのに画像が保存されていない	1) 記録が終了する前に電池切れになった。 2) 記録が終了する前にメモリーカードを抜いた。	1) 電池残量表示が  になったら、速やかに電池を充電してください(24ページ)。 2) 記録が終了する前にメモリーカードを抜かないでください。
風景が明るいのに人物の顔が暗くなってしまった。	人物が光量不足です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>フラッシュを“” (強制発光) にしてください(日中シンク口撮影)(52ページ)。</li> <li>EVシフトを+側に調整してください(80ページ)。</li> </ul>
海岸やスキー場で撮影すると被写体が暗くなる。	海岸や雪面からの強い光の反射に露出が合っているため、露出不足になっています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>フラッシュを“” (強制発光) にしてください(日中シンク口撮影)(52ページ)。</li> <li>EVシフトを+側に調整してください(80ページ)。</li> </ul>
デジタルズーム(HDズーム、クイックズーム含む)が効かない。ズームバーが3.0倍までしか表示されない。	1) デジタルズームの設定が“切”になっている。 2) タイムスタンプを使用しているとデジタルズームが使用できません。	1) デジタルズームの設定を“入”にする(51ページ)。 2) タイムスタンプの設定を“切”にする(87ページ)。

現象	考えられる原因	対処
<b>動画について</b>		
画面に縦線が入る。	極端に明るい被写体を撮影すると、液晶モニター上の画像に、縦に尾を引いたような光の帯が表示される場合があります(スミア現象)。	これはCCD特有の現象で、故障ではありません。なお、この帯は静止画には記録されませんが、動画にはそのまま記録されますので、ご注意ください。
画像がぼける。	撮影範囲外ではピントが合わず、ぼけた画像になります。	撮影範囲内で撮影してください。
画像にノイズが入る。	被写体が暗いとカメラの感度が自動的に上がるため、ノイズが発生する場合があります。	ライトなどを使用して明るくして撮影してください。
<b>再生について</b>		
再生した画像の色が撮影時に液晶モニターで見た色と違う。	太陽光など光源からの直接光がレンズに当たっている。	直接光がレンズに当たらないようにしてください。
画像が表示されない。	DCF規格に準拠していない他のデジタルカメラで撮影したメモリーカードを使用している。	DCF規格に準拠していない他のデジタルカメラで撮影したメモリーカードは、ファイル管理形式が異なるため再生できません。
すべてのボタンやスイッチが働かない。	他の周辺機器との接続中に静電気や衝撃等により、回路内部に障害が発生した。	電池をいったん取り出し、入れ直してから再度操作してみてください。
液晶モニターに何も表示されない。	USB通信中である。	内蔵メモリー/メモリーカードにパソコンからのアクセスがないことを確認し、USBケーブルを抜いてください。

現象	考えられる原因	対処
その他		
パソコンにUSB接続しても画像が取り込めない。	1) カメラがUSBクレードルに確実にセットされていない。 2) USBケーブルが確実に接続されていない。 3) USBドライバがインストールされていない。 4) カメラの電源が入っていない。	1) カメラとUSBクレードルの接合部を確認して、確実にセットしてください。 2) コネクター端子部を確認して、確実に接続してください。 3) USBドライバをインストールしてください(142ページ)。 4) USBクレードルの【USB】ボタンを押してください。
カメラの電源を入れると、言語設定画面が表示される。	1) 言語設定、自宅設定、表示スタイル設定、日時設定などが設定されていない。 2) カメラ内部のメモリー管理エリアが壊れている。	1) 各設定を確実に行ってください(10、127ページ)。 2) リセット操作によりカメラの設定内容を初期値に戻してください(93ページ)。その後、各設定を確実に行ってください。再度カメラの電源を入れたときに言語設定画面が表示されなければ、カメラ内部のメモリー管理エリアが修復されました。 もしも再度電源を入れても言語設定画面が表示される場合は、お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口にお問い合わせください(195ページ)。

## USBドライバを正しくインストールできない場合は

Windows 98SE/98でUSBドライバをインストールしようとしたが、正しくインストールできない場合は、次のような原因が考えられます。

### ■ 考えられる原因

- 1) Windows 98SE/98を使用しているパソコンで、付属のCD-ROM(カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア)からUSBドライバをインストールする前にUSBケーブルでカメラを接続したことなどにより、別のドライバをインストールしてしまった。
- 2) 他の原因で正しくUSBドライバがインストールできなかった。

### ■ 対処方法

パソコンとデジタルカメラをUSB接続して、「マイコンピュータ」を開いても「リムーバブルディスク」が表示されない場合は、以下の手順で「不明なデバイス」を削除してから再インストールしてください。

- ① パソコンとカメラをUSBケーブルで接続する
- ② カメラの電源を入れる
- ③ スタートメニューから「設定」→「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」タブを選択し、「種類別に表示」を選択して一覧から「不明なデバイス」を探し削除する
- ④ 「不明なデバイス」を削除したらカメラの電源を切り、USBケーブルを抜く

- ⑤ パソコンを再起動し、142ページの操作に従って付属のCD-ROM(カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア)からUSBドライバを再インストールする

### ★ 重要

- 詳しい情報につきましては、付属のCD-ROM(カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア)に収録されている「USB driver Type B」の「お読みください」をお読みいただくか、カシオデジタルカメラオフィシャルWebサイト(<http://dc.casio.jp/>)をご覧ください。

## 画面に表示されるメッセージ

圧縮に失敗しました	画像データ記録中に圧縮不可能状態のとき表示されます。撮影し直してください。
インクを補充してください	プリント時に、プリンタのインクが減っている、またはインクが切れている場合に表示されます。
お気に入りのファイルがありません	お気に入りフォルダにファイルが登録されていないときに表示されます。

カードが異常です	<p>メモリーカードに異常が発生したときに表示されます。電源を切って、メモリーカードを差し直してください。再度電源を入れても同じメッセージが表示される場合は、フォーマットしてください(32ページ)。</p> <p> <b>重要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>フォーマットを行うとメモリーカード内のすべての内容(ファイル)が消えてしまいます。フォーマットを行う前に、パソコン等を利用してメモリーカード内の正常なファイルを保存してください。</li> </ul>
カードがフォーマットされていません	メモリーカードがフォーマットされていないときに表示されます。メモリーカードをフォーマットしてください(32ページ)。
カードがロックされています	SDメモリーカードに付いているLOCKスイッチがロックされている状態です。この状態では、記録、消去などファイルを操作することができません。

この機能は使用できません	カメラにメモリーカードを入れない状態で、内蔵メモリーからメモリーカードへファイルをコピーしようとしたときに表示されます(120ページ)。
この画面は補正できませんでした	補正が実行できなかった場合に表示されます。補正せずに画像が保存されます(69ページ)。
このファイルではこの機能は使用できません	各種機能が実行できなかった場合に表示されます。
このファイルは再生できません	ファイルが壊れているか、本機で表示できないファイルを表示しようとしています。
これ以上登録できません	ベストショットモードで「SCENE」フォルダの中に999シーンある状態でカスタム登録しようとした場合に表示されます。または、9999のお気に入りのファイルがすでにある状態で、さらにお気に入りのファイルを登録しようとした場合に表示されます(66、119ページ)。
設定したファイルが見つかりません	スライドショーの“表示画面”で設定した画像が見つからないときに表示されます。もう一度設定し直してください(96ページ)。

接続エラー	<ul style="list-style-type: none"> <li>プリンタ接続時に、カメラのUSB設定がプリンタのUSB接続方式と合っていない場合に表示されます(133ページ)。</li> <li>パソコン接続時に、USBドライバがインストールされていない場合に表示されます(142ページ)。</li> </ul>
電池容量が無くなりました	電池がなくなったときに表示されます。
電池容量が無くなりました ファイルが保存されませんでした	電池がなくなったため、撮影した画像ファイルが保存されませんでした。
登録可能な画像がありません	ベストショットモードで登録できる画像がないときに表示されます。
ファイルがありません	まだ何も記録していない状態、または記録内容をすべて消去して本機にファイルが一つもない状態です。
フォルダが作成できません	999番のフォルダの中に9999番のファイルが登録されている状態で、撮影しようとしたときに表示されます。撮影を続けるには、不要なファイルを消去する操作を行う必要があります(122ページ)。

プリントする画像がありません DPOF設定してください	プリントする画像が指定されていないときに表示されます。DPOFの設定を行ってください(135ページ)。
プリントエラー	プリント中のエラー時に表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>プリンタ電源オフ、</li> <li>プリンタ本体のエラー、など</li> </ul>
メモリがいっぱいです	撮影可能枚数を使い切りました。撮影を行いたい場合は、不要なファイルを消去する必要があります(122ページ)。
もう一度、電源を入れ直してください	レンズに障害物が当たると、このメッセージが表示され、電源が切れます。障害物がないことを確認して、再度電源を入れてください。
用紙を補充してください	プリント時に、プリンタの用紙が切れている場合に表示されます。
レンズエラー	レンズが予期せぬ動作をしたとき、このメッセージが表示され、電源が切れます。再度電源を入れても同じメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店または、カシオテクノ修理相談窓口にお問い合わせください(195ページ)。
SYSTEM ERROR	カメラのシステムが壊れていますので、お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口にお問い合わせください。

## 主な仕様／別売品

### 主な仕様

品名.....デジタルカメラ  
機種名.....EX-Z1000

#### ■ カメラ機能

記録画像ファイル

フォーマット.....静止画：JPEG(Exif Ver.2.2)、DCF(Design rule for Camera File system) 1.0  
準拠、DPOF対応

動画：AVI形式、Motion JPEG準拠

音声：WAV

記録媒体.....内蔵メモリー8.0MB

SDメモリーカード(SD Memory Card)  
マルチメディアカード(MultiMediaCard)

記憶容量

- 静止画

画像サイズ (pixels)	画質	画像ファイル サイズ	内蔵メモリー 8.0MB	SDメモリー カード ※256MB
10M (3648×2736)	高精細-F	約4.2MB	約1枚	約56枚
	標準-N	約2.8MB	約2枚	約84枚
	エコノミー-E	約1.4MB	約5枚	約162枚
3:2 (3648×2432)	高精細-F	約3.8MB	約2枚	約62枚
	標準-N	約2.5MB	約3枚	約93枚
	エコノミー-E	約1.25MB	約5枚	約180枚
16:9 (3648×2048)	高精細-F	約3.3MB	約2枚	約71枚
	標準-N	約2.2MB	約3枚	約106枚
	エコノミー-E	約1.1MB	約6枚	約203枚
5M (2560×1920)	高精細-F	約2.8MB	約2枚	約84枚
	標準-N	約2.0MB	約3枚	約116枚
	エコノミー-E	約1.0MB	約7枚	約221枚
3M (2048×1536)	高精細-F	約1.92MB	約4枚	約121枚
	標準-N	約1.28MB	約5枚	約180枚
	エコノミー-E	約640KB	約11枚	約348枚
2M (1600×1200)	高精細-F	約1.17MB	約6枚	約196枚
	標準-N	約780KB	約9枚	約286枚
	エコノミー-E	約390KB	約17枚	約530枚
VGA (640×480) (VGA)	高精細-F	約360KB	約20枚	約625枚
	標準-N	約240KB	約30枚	約938枚
	エコノミー-E	約120KB	約57枚	約1742枚

● 動画

画像サイズ (pixels)	1ファイル 最長記録時間	転送レート (フレーム/秒)	内蔵メモリー 8.0MB	SDメモリー カード ※256MB
高品位-HQ 640×480	メモリの許す限り	約10.2 メガビット/秒 (25フレーム/秒)	約6秒	約3分16秒
標準-Normal 640×480	メモリの許す限り	約6.1 メガビット/秒 (25フレーム/秒)	約10秒	約5分27秒
長時間-LP 320×240	メモリの許す限り	約2.45 メガビット/秒 (12.5フレーム/秒)	約26秒	約13分35秒

※記録枚数は、撮影できる枚数の目安です。

※松下電器産業(株)製の場合です。使用するメモリーカードによって撮影枚数は異なる場合があります。

※容量の異なるメモリーカードをご使用になる場合は、おおむねその容量に比例した枚数が撮影できます。

消去 ..... 1ファイル単位、全ファイル一括消去可能  
(メモリープロテクト機能付き)

有効画素数 ..... 1010万画素

撮像素子 ..... 1/1.8型正方形画素原色CCD  
(総画素数:1037万画素)

レンズ/焦点距離 .... F2.8-5.4/f=7.9~23.7mm  
(35mmフィルム換算38~114mm相当)  
非球面レンズを含む5群7枚

ズーム ..... 光学ズーム3倍/  
デジタルズーム4倍  
(画像サイズ:10M(3648×2736 pixels)時)  
(光学ズーム併用12倍)

焦点調節 ..... コントラスト検出方式オートフォーカス  
フォーカスモード:  
オートフォーカス/マクロモード/  
パンフォーカス(動画のみ)/無限遠モード/  
マニュアルフォーカス選択可能  
AFエリア:  
スポット/マルチ選択可能、AF補助光付き

撮影可能距離

(レンズ表面より) .... オートフォーカスモード:約40cm~∞  
マクロモード:約6cm~約50cm  
無限遠モード:∞

マニュアルフォーカスモード:約6cm~∞

※ 光学ズームにより、範囲は変化します。

露出制御 ..... 測光方式:撮像素子によるマルチパターン測  
光/中央重点測光/スポット測光  
制御方式:プログラムAE  
露出補正: -2EV~+2EV(1/3EV単位)

シャッター ..... CCD電子シャッター/メカシャッター併用  
静止画(オート): 1/2~1/2000秒(ISO 50時)  
静止画(夜景): 4~1/2000秒(ISO 50時)  
※ ベストショットモードの一部や感度設定によっ  
ては異なります。

絞り値 ..... F2.8/5.6\*自動切替式(\*明るさ換算F値)  
※ 光学ズームにより、絞り値は変化します。

ホワイトバランス ... オート/固定(6モード)/マニュアル  
感度設定 ..... 静止画: オート/ISO 50/ISO 100/  
ISO 200/ISO 400  
※ メニュー画面で“ブレ軽減”を“オート”に、  
またはベストショットの“ブレ軽減”に設  
定した場合は最大ISO800、ベストショッ  
トの“高感度”においては最大ISO3200  
動画: オート

セルフタイマー ..... 作動時間約10秒、2秒、トリプルセルフタイマー  
内蔵フラッシュ ..... 発光モード: フラッシュオート、発光禁止、  
強制発光、ソフト発光、赤目軽減  
機能切替可能

フラッシュ撮影範囲:  
広角時 約0.1m~約3.6m  
望遠時 約0.4m~約1.9m

●フラッシュ連写:  
広角時 約0.6m~約2.1m  
望遠時 約0.4m~約1.1m

※ ISO感度オート時  
※ 光学ズームにより、撮影範囲は変化しま  
す。

撮影/録音関連機能 .. 静止画撮影(音声付き)、マクロ撮影、セルフ  
タイマー撮影、連写、ベストショット撮影、動画  
撮影(音声付き)、音声録音(ボイスレコード)  
※ 音声はモノラルです。

音声記録時間 ..... 音声付き静止画撮影: 1画像につき最長約30秒間  
アフターレコーディング: 1画像につき最長約30秒間  
ボイスレコード: 約24分(内蔵メモリーの場合)

モニター ..... 2.8型TFTカラー液晶  
230,400(960×240)画素

ファインダー ..... 液晶モニター

時計機能 ..... クォーツデジタル時計内蔵  
日付・時刻: 画像データと同時に記録  
自動カレンダー: 2049年まで

ワールドタイム ..... 世界162都市(32タイムゾーン)に対応  
都市名、日付、時刻、サマータイム

入出力端子 ..... クレドール接続端子  
USB ..... USB2.0 Full-Speed 対応  
マイク ..... モノラル  
スピーカー ..... モノラル

## ■ 電源部、その他

電源.....リチウムイオン充電電池(NP-40)×1個  
電池寿命

下記の電池寿命は、温度23°Cで使用した場合の電源が切れるまでの目安であり、保証時間、または保証枚数ではありません。低温下で使うと、電池寿命は短くなります。

撮影枚数(CIPA) <sup>※1</sup>	約360枚
連続再生時間(静止画) <sup>※2</sup>	約13時間
動画連続撮影時間	約3時間15分
ボイスレコード録音時間 <sup>※3</sup>	約8時間

- 使用電池:NP-40(定格容量:1300mAh)
- 記録メディア:SDメモリーカード
- 測定条件

### ※1 撮影枚数(CIPA)

CIPA規準に準ずる

温度(23°C)、液晶モニターオン、30秒毎にズームのワイド端とテレ端で交互に撮影、フラッシュ発光(2枚に1回)、10回撮影に1度電源を切/入操作

### ※2 連続再生時間

温度(23°C)、約10秒に1枚ページ送り

### ※3 ボイスレコード録音時間は、連続で録音したときの時間です。

- 上記は、新品の電池のフル充電状態での数値です。繰り返し使用すると、電池寿命は徐々に短くなります。

- フラッシュ、ズーム、オートフォーカスの使用頻度や電源が入った状態の時間により、撮影時間または枚数は大幅に異なる場合があります。

消費電力.....DC3.7V 約3.6W

外形寸法.....幅92.0mm×高さ58.4mm×奥行き22.4mm  
(突起部除く、最薄部19.9mm)

質量.....約139g(電池、付属品除く)

付属品.....リチウムイオン充電電池(NP-40)、USBクレードル(CA-33)、専用ACアダプター(AD-C52J)、USBケーブル、AVケーブル、ストラップ、CD-ROM、取扱説明書(保証書付き)

## ■ リチウムイオン充電電池(NP-40)

定格電圧.....3.7V

定格容量.....1300mAh

使用周囲温度.....0~40°C

外形寸法.....幅38.5mm×高さ38.0mm×奥行き9.3mm

質量.....約34g

## ■ USBクレードル(CA-33)

入出力端子	カメラ接続端子、USB接続端子、外部電源端子 (DC IN 5.3V)、AV接続端子(AV出力:NTSC /PAL標準方式準拠)
消費電力	DC5.3V 約3.2W
サイズ	幅107mm×高さ17mm×奥行き58mm (突起部除く)
質量	約59g

## ■ 専用ACアダプター(AD-C52J)

入力電源	AC100-240V 50/60Hz 83mA
出力電源	DC5.3V 650mA
プラグ形状	Aタイプ(平2ピン)
サイズ	幅50mm×高さ18mm×奥行き70mm (突起部、ケーブル除く)
質量	約90g

## 別売品

● 充電器	BC-30L
● リチウムイオン充電池	NP-40
● ソフトケース	ESC-80
● ネックストラップ	ENS-1
● ネックストラップ	ENS-2
● ネックストラップ	ENS-3
● モバイルAVケーブル	EMC-3A
● ウォータープルーフケース(防水ケース)	EWC-80

別売品は、お買い求めの販売店、もしくはカシオ・オンライン  
ショッピングサイト(e-カシオ)にご用命ください。  
e-カシオ: <http://www.e-casio.co.jp/>

カシオデジタルカメラに関する情報は、カシオデジタルカメラ  
オフィシャルWebサイトでもご覧になることができます。  
<http://dc.casio.jp/>

## 索引

### 英数字

12 分割	101
AC アダプター	25
Adobe Reader	141, 150, 157
AF エリア	77
AF 補助光	47
AF 補助光 / セルフタイマーランプ	47, 57
DCF 規格	159
DirectX	141
DPOF	135
DVD レコーダー	100
EV シフト	80
Exif Print	138
HD ズーム	50
ISO 感度	84
Language	128
Mass Storage	129, 134, 143, 153
MMC (マルチメディアカード)	30
NTSC 方式	100
PAL 方式	100
PDF ファイル	150, 157
Photo Loader	141, 148, 152
インストール	148, 156

Photohands	141, 149
インストール	149
PictBridge	132
PictBridge 対応のプリンター	133
PRINT Image Matching III	138
PTP	129
QuickTime	62
SD メモリーカード	30
SD メモリーカードスロット付の プリンター	133
USB DIRECT-PRINT	132
USB DIRECT-PRINT 対応の プリンター	133
USB driver Type B	141
USB クレードル	19
USB 通信	129
USB ドライバ インストール	142
Windows Media Player	61, 62

### あ

アイコンガイド	166
赤目軽減	52, 54
赤目用プリ発光	54
鮮やかさ	86
アフレコ	113
アングル補正	105
一時停止	96

一覧表示	101
印刷	132
証明写真	71
インストール	148, 156
Photo Loader	148, 156
Photohands	149
USB ドライバ	142
液晶モニター	45, 164
明るさ	41
画質	41
情報	39
表示内容	35, 164
レイアウト	36
オート撮影	13
オート撮影アイコン	44
オートパワーオフ	29
オートフォーカス	74, 75
制限事項	48
オートマクロ	76
お気に入りフォルダ	119
登録	119
ファイルを消去	123
お手入れ	22
音声	113
静止画に音声を加える	60
録音し直す	113
録音する	60
音声だけを録音する	114
音声付き静止画	60
音声を聞く	95
音声付き静止画の再生	95

音量 .....96, 125

---

## か

---

海外で使うとき ..... 42

回転 ..... 108

拡大 ..... 96, 101

画質 ..... 13

静止画 ..... 13

動画 ..... 15, 62

カスタム登録 ..... 66

画素 ..... 46

画像サイズ ..... 13

変更する ..... 46

カレンダー形式 ..... 102

感度を上げる ..... 68

キーカスタマイズ ..... 90

聞く

音声 ..... 95

静止画の音声 ..... 61

ボイスレコードの音声 ..... 116

基準線 ..... 90

起動画面 ..... 126

強制発光 ..... 52

クイックシャッター ..... 45, 78

クイックズーム ..... 51

グリッド ..... 90

蛍光灯 ..... 82

結露 ..... 21

光学ズーム ..... 49

交換

電池 ..... 27

メモリーカード ..... 32

コピー ..... 120

コントラスト ..... 86

---

## さ

---

再生音量 ..... 125

再生する ..... 94

再生モード ..... 28

彩度 ..... 86

撮影

証明写真 ..... 70

静止画 ..... 13, 43

動画 ..... 15, 62, 63

ムービー ..... 63

撮影モード ..... 28

撮影レビュー ..... 91

色調 ..... 86

時刻 ..... 10

絞り値 ..... 45

シャープネス ..... 86

シャッター ..... 13

シャッター速度 ..... 45

シャッターチャンス ..... 45

充電 ..... 9, 24, 25

使用環境 ..... 21

消去 ..... 17, 122

消去防止 ..... 118

証明写真 ..... 70

印刷する ..... 71

ズーム撮影 ..... 49

ズームバー ..... 50

スポット ..... 85

スライドショー ..... 96

スリープ ..... 29

静止画

一部を切り抜く ..... 104

音声を加える ..... 60

音声を追加する (後から) ..... 113

画質 ..... 13

撮影する ..... 13, 43

動画から作成する ..... 111

見る ..... 14, 94

整理 ..... 117

接続

DVDレコーダー ..... 100

テレビ ..... 99

パソコン ..... 143, 152

ビデオデッキ ..... 100

セルフタイマー ..... 56

全押し ..... 14

鮮明さ ..... 86

操作音 ..... 125

操作音量 ..... 125

操作パネル ..... 36

測光方式 ..... 85

ソフト発光 ..... 52

た	
退色補正.....	106
タイムスタンプ.....	87
旅先で使うとき.....	42
ためし撮り.....	21
中央重点.....	85
著作権.....	19
デジタルズーム.....	49
オフにする.....	51
デジタルズーム表示.....	50
手ブレ.....	67
テレビ.....	99
電源を入れる.....	28
電源を切る.....	28
電池	
入れる.....	9, 24
交換する.....	27
残量.....	26
充電する.....	9, 24
消耗を抑える.....	29
不良.....	26
保管.....	27
予備.....	42
電池カバー.....	24
電池残量.....	26

動画	
画質.....	15, 62
カットする.....	109
形式.....	62
サイズ.....	62
撮影する.....	15, 62, 63
見る.....	16, 95
動作確認用ランプ.....	13, 44
登録	
お気に入りフォルダ.....	119
トリミング.....	104

## な

内蔵メモリー	
フォーマットする.....	130
メモリーカードにコピー.....	121
日時.....	127
日時設定.....	127
日時編集.....	107

## は

パソコン	
画像を管理する.....	147
画像を保存する.....	146, 155
カメラの画像を見る.....	145, 155
接続.....	143, 152
動画を再生する.....	150, 157
動作環境.....	141, 152
発光禁止.....	52

早送り/早戻し.....	96
半押し.....	14
パンフォーカス.....	74, 79
ビジネスショット.....	69
被写体ブレ.....	67
ヒストグラム.....	88
日付と時刻.....	10, 127
日付の表示スタイル.....	127
日付プリント.....	137
ビデオ出力の方式.....	100
ビデオデッキ.....	100
表示言語.....	128
表示メニュー.....	35, 170
ピント	
合わせる.....	44, 74
ファイル.....	117
コピー.....	120
消去.....	123
ファイルサイズ	
音声.....	60
動画.....	62
ファイル名.....	117
フィルター.....	86
フォーカスフレーム.....	13, 44
フォーカスモード.....	74
フォーカスロック.....	78
フォーマット.....	12
内蔵メモリー.....	130
メモリーカード.....	12, 32
フォトスタンド.....	98

フォルダ.....	117
フォルダ構造.....	160
フォルダ名.....	117
フラッシュ.....	52
強さを変える.....	54
フラッシュアシスト.....	55
フラッシュオート.....	52
プリンター	
PictBridge 対応.....	133
USB DIRECT-PRINT 対応.....	133
プリンターでプリントする.....	133
プリント.....	132
プリントサービスのお店.....	132
プリントする画像や枚数.....	135
ブレ軽減.....	67
ベストショット.....	18, 64
シーン.....	64
編集.....	103
ボイスレコード.....	114
ホームタイム	
都市.....	127
日時.....	127
補正する	
明るさ.....	80
露出.....	80
保存	
内蔵メモリーに保存.....	11, 30
パソコンに保存.....	146
メモリーカードに保存.....	11, 30
ホワイトバランス調整.....	82

---

## ま

---

マイベストショット.....	66
マクロ.....	74, 76
マニュアルフォーカス.....	74, 79
マニュアルホワイトバランス.....	83
マルチ (マルチパターン).....	85
見る	
お気に入りフォルダ.....	119
静止画.....	14, 94
動画.....	16, 95
ムービー	
撮影する.....	63
ムービーアイコン.....	15, 16
無限遠.....	74, 79
明暗の差.....	86
メッセージ.....	177
メッセージの言語.....	10
メニュー.....	34
メニュー一覧表.....	167
メモリーカード	
入れる.....	11, 31
交換する.....	32
フォーマットする.....	12
メモリープロテクト.....	118
モーションプリント.....	111
モードメモリ.....	92
モバイル AV ケーブル.....	100

---

## や

---

ユーザー登録.....	150, 158
予備の電池.....	42
よみがえりショット.....	72

---

## ら

---

リサイクル.....	22
リサイズ.....	103
リセット.....	93
レイアウト.....	36
連写.....	58
高速連写.....	58
ズーム連写.....	58
通常連写.....	58
フラッシュ連写.....	58
連続撮影.....	58
連番のカウント方法.....	126
録音.....	60
露出	
確認する.....	88
補正する.....	80

---

## わ

---

ワールドタイム.....	128
--------------	-----







